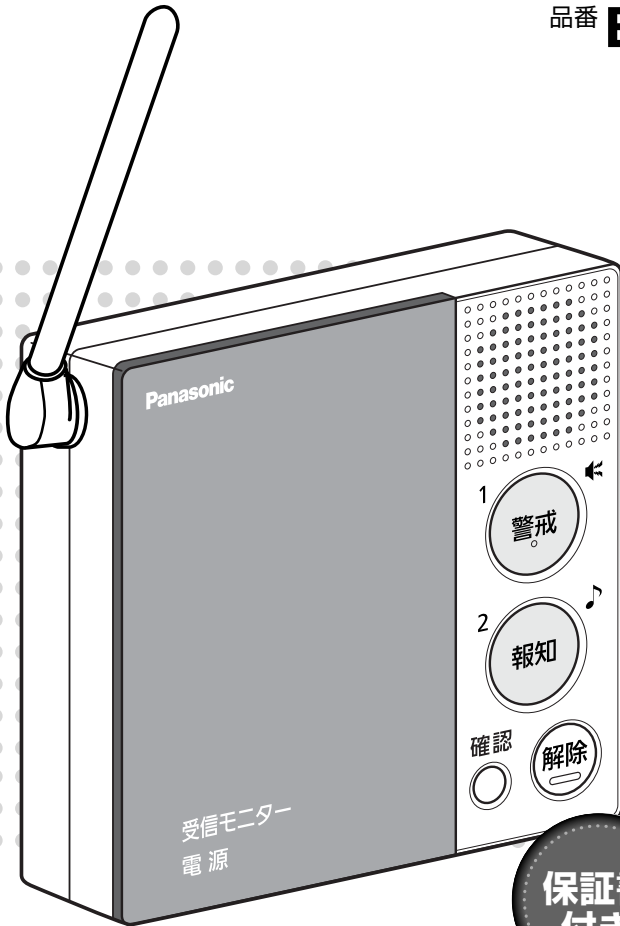


小電力型 ワイヤレスセキュリティ受信器親機

品番 **ECD5101**
(100V電源直結式)



保証書
付き

施工説明書
別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。

説明書の読みかた

説明書の種類

本製品には、下記の説明書が付属しています。



◇設定マニュアル

本製品を使い始める前に必要な発信器・送信器の登録や各種設定のしかた、また必要に応じて設定を変更する方法について説明しています。

＜主な内容＞
登録・機能設定、登録の消去、など。



◇取扱説明書（本書）

本製品の特長や機能、操作方法、トラブル対処方法などについて説明しています。

＜主な内容＞
各表示灯やボタンの説明、通常時の使いかた、異常時の使いかた、
便利な使いかた、困ったときの対処方法、など。



◇施工説明書

本製品の取付方法や自動通報機を使用する場合の接続方法を記載しています。

＜主な内容＞
施工上のご注意、取付方法、配線方法、など。

説明書の用途

◇必ず読んでいただきたい項目◇

初期登録など

- 使い始める前に、各部の名称やはたらきを理解します。
⇒取扱説明書 11ページ「1.1 各部のなまえとはたらき（使用時）」参照。
⇒設定マニュアル 7ページ「1.1 各部のなまえとはたらき（設定時）」参照。
- 発信器や送信器を登録したり、警戒するエリアや動作などを設定します。
⇒設定マニュアル 6ページ「1. 登録・機能設定」参照。

使用開始

- 外出時や在宅時など、状況に応じて警戒／報知セットします。
外出時 ⇒取扱説明書 25ページ「2.2 外出時の警戒セット操作」参照。
帰宅時 ⇒取扱説明書 29ページ「2.5 帰宅時の警戒解除操作」参照。

◇必要に応じて読んでいただきたい項目◇

警戒が鳴ったとき

警戒メッセージを停止し、警戒の発生場所や原因を確認します。
⇒取扱説明書 33ページ
「3.1 警戒／報知の動作」

故障かなと思ったとき

原因を調べて対処し、解決できない場合は施工店や当社お客様相談窓口にご連絡します。
⇒取扱説明書 58ページ
「5 故障かな?と思ったら」

発信器や送信器を消去したり、追加したいとき

使用しない発信器や送信器を消去したり、新たな発信器や送信器を登録します。
⇒設定マニュアル 33ページ
「2.1 登録した機器の登録を消去する」、17ページ「1.5 発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を登録する」

表示灯の意味を知りたいとき

状態表示灯の種類や表示の意味を確認します。
⇒取扱説明書 12ページ
「1.1.1 状態表示灯の表示内容」

停電が発生したとき

停電バックアップ電池がある場合とない場合の動作と対処方法を確認します。
⇒取扱説明書 44ページ
「3.6 停電になったら」

発生した警戒の内容を知りたいとき

警戒の発生場所や内容について確認します。
⇒取扱説明書 48ページ
「3.8 状態表示灯が点滅し続けるとき」

わからない用語があるとき

わからない用語の意味を調べます。
⇒取扱説明書 63ページ、
設定マニュアル 45ページ
「用語集」

動作が正常かどうかを確認したいとき

本製品が正常に動作するかどうかを確認します。
⇒設定マニュアル 30ページ
「1.10 動作確認をする」

警戒セット・解除発信器を使うとき

警戒セット・解除発信器を使った警戒セットや解除などの操作方法や動作について確認します。
⇒取扱説明書 51ページ
「4.1 警戒セット・解除発信器を使う」

非常事態を周りに知らせたいとき

別売のペンダント発信器などで、非常事態を周りに知らせます。
⇒取扱説明書 43ページ
「3.5 非常警戒を鳴らすには」

暗証番号の入力方法を知りたいとき

暗証番号の入力方法を確認します。
⇒取扱説明書 40ページ
「3.2.2 暗証番号を設定している場合」

説明書の読みかた	1～2
安全上のご注意	5
ご注意	6～8

1 はじめに	10～18
1.1 各部のなまえとはたらき(使用時)	11～12
●1.1.1／状態表示灯の表示内容	12
1.2 ワイヤレスセキュリティシステムのしくみ	13～14
1.3 システム構成機器	15～16
1.4 発信器・送信器設置例	17～18

2 通常時の使いかた	20～30
2.1 警戒／報知／非警戒状態について	21～24
●2.1.1／各状態の動作	22～23
●2.1.2／セット／解除のしかた	24
2.2 外出時の警戒セット操作	25
●2.2.1／外出時に警戒セットするには	25
2.3 就寝時の警戒セット操作	26～27
●2.3.1／就寝時に警戒セットするには	26
●2.3.2／窓を開けたまま警戒セットするには	27
2.4 在宅時の報知セット操作	28
2.5 帰宅時の警戒解除操作	29～30

3 異常時の使いかた	32～48
3.1 警戒／報知の動作	33～38
●3.1.1／警戒中に玄関を開けると	35
●3.1.2／警戒中に窓を開けると	36
●3.1.3／警戒中に敷地用の送信器が検知すると	37
●3.1.4／報知中に玄関や窓が開く、または敷地用の送信器が検知すると	38
●3.1.5／非警戒中に玄関や窓、門扉を開けると	38

3.2 予備警報、防犯警報の解除方法	39～40
●3.2.1／暗証番号を設定していない場合	39
●3.2.2／暗証番号を設定している場合	40
3.3 防犯警報が鳴ったとき(窓ガラスが破壊された場合)	41
3.4 火災警報が鳴ったとき	42
3.5 非常警報を鳴らすには	43
3.6 停電になったら	44～46
●3.6.1／停電バックアップ電池がない場合	44～45
●3.6.2／停電バックアップ電池がある場合	46
3.7 各警報の優先順位	47
3.8 状態表示灯が点滅し続けるとき	48

4 便利な使いかた	50～56
4.1 警戒セット・解除発信器を使う	51～56
●4.1.1／表示灯の表示内容	51
●4.1.2／警戒セットする	52
●4.1.3／報知セットする	53
●4.1.4／警戒セット状態を解除する	54
●4.1.5／報知セット状態を解除する	55
4.2 警報ランプ付ブザー受信器や自動通報機の動作	56

5 故障かな?と思ったら	58～62
5.1 電池切れ表示灯やシステム確認表示灯が点灯した場合は	59～60
●5.1.1／異常内容の確認方法	59
●5.1.2／異常内容の対処方法	60
5.2 トラブルが発生した場合には	61～62

用語集	63
仕様	64
保証とアフターサービス	65

安全上のご注意

■必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⊘	してはいけない内容です。
---	--------------

⚠ 警告



絶対に分解したり修理・改造しない。
感電の原因となります。

〈停電バックアップ電池取扱上のご注意〉

⚠ 危険



セキュリティ受信器専用の充電式電池です。
この機器以外に使用しない。
火への投入、加熱をしない。
分解・改造をしない。
液もれ・発熱・破裂の原因となります。

ご注意

ご使用前に

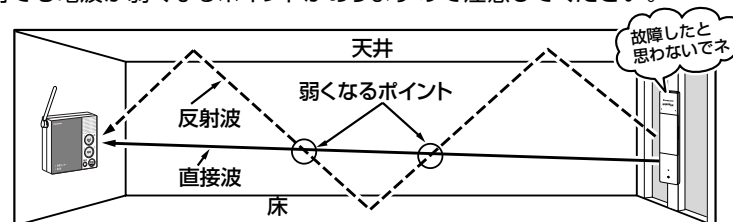
- この商品は、発信器・送信器と組み合わせて使用し、発信器・送信器から送られる、玄関・窓・錠の開閉、敷地への侵入をモニター（受信）する機能、および、非常や火災発生を検知して受信器に知らせる機能を持っています。別売の自動通報機を接続すると、あらかじめ設定した通報先に家の中の警報を通報することができます。また、生活シーンに合わせて受信器のボタンひとつで監視状態を切り替えることができます。
- この商品は、電波法で認められた「小電力セキュリティシステムの無線局」です。
- 本システムは人命保持や盗難事故を完全に防ぐものではありません。あくまでも補助的なシステムです。万一、本システムの稼動中に人命・財産などに対して損害が生じても弊社は一切の責任は負い兼ねますのでご了承ください。

設置場所に関するご注意

- 受信器と発信器・送信器、ネットアダプタ（ワイヤレスセキュリティ用）、警報ランプ付ブザー受信器との電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。（電波が届きにくい場合は中継器（別売）をご使用になり、動作を確認してください。）
- 下記のような使用環境では、電波（ノイズ）を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は、動作しないことがありますので注意してください。

- ・機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ・機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ・機器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- ・金属物の壁面に機器を取り付けている。
- ・操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- ・電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
- ・機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ・機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- ・機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- ・近くに、テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

- 到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。



- 設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。
設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

使用上のご注意

- 故障、破損または動作しない原因となりますので、必ずお守りください。

・受信器は、予備電源（バッテリー）を内蔵していませんので、停電の場合、電波が受信できず動作しません。

※停電バックアップ電池（別売）を使用している場合は下記参照

・雨のかかる場所や浴室などの湿度の高い場所では使用しないでください。

・水をかけないでください。

・炊飯器など湿気の出る物を下に置かないでください。

・ストーブなどの高温の物に近づけないでください。

・落としたりしないでください。

・テレビ、ラジオは2m以上離してください。

・2台以上の発信器・送信器から同時に電波が送信されると、受信器は動作しないことがあります。故障ではありません。

・受信器と発信器・送信器は、50cm以上離して使用してください。

・送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器・送信器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。

停電バックアップ電池（別売/品番:ECD1700）をご使用の場合

- この商品は停電時、自動的に停電バックアップ電池に切り替わり、完全充電状態で約30分間警戒することができ、30分以内に異常を検知した場合は、約5分間警報動作が可能です。
- 停電バックアップ電池は約48時間充電すると、充電完了です。（停電バックアップ電池は充電が必要です。）
- 停電バックアップ電池は徐々に劣化しますので、2年に一度必ず交換を行ってください。



Ni-MH

ニッケル水素電池はリサイクルへ

停電バックアップ電池には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換、およびご使用済みの商品の廃却に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルへ協力してください。

受信モニターの便利な使いかた

発信器・送信器を操作していないのに、頻繁に受信器の受信モニターが赤色点灯・点滅する場合は、近くにある家電商品やパソコンなどのOA機器からの電波（ノイズ）を受けているか、もしくはトランシーバーや当社および他社の無線商品など、特定小電力無線設備が使用されている可能性があります。

このような場合には使用場所を変更したり、周波数チャンネルを変更して受信モニターが点灯・点滅しないようにしてください。（周波数チャンネルの変更方法については、設定マニュアルの「1.4周波数チャンネルを確認する」を参照してください。）

お手入れについて

- ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。噴霧式の洗剤は使用しないでください。



※・ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

おことわり

発信器・送信器は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示（㊞マーク）は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられることがあります。

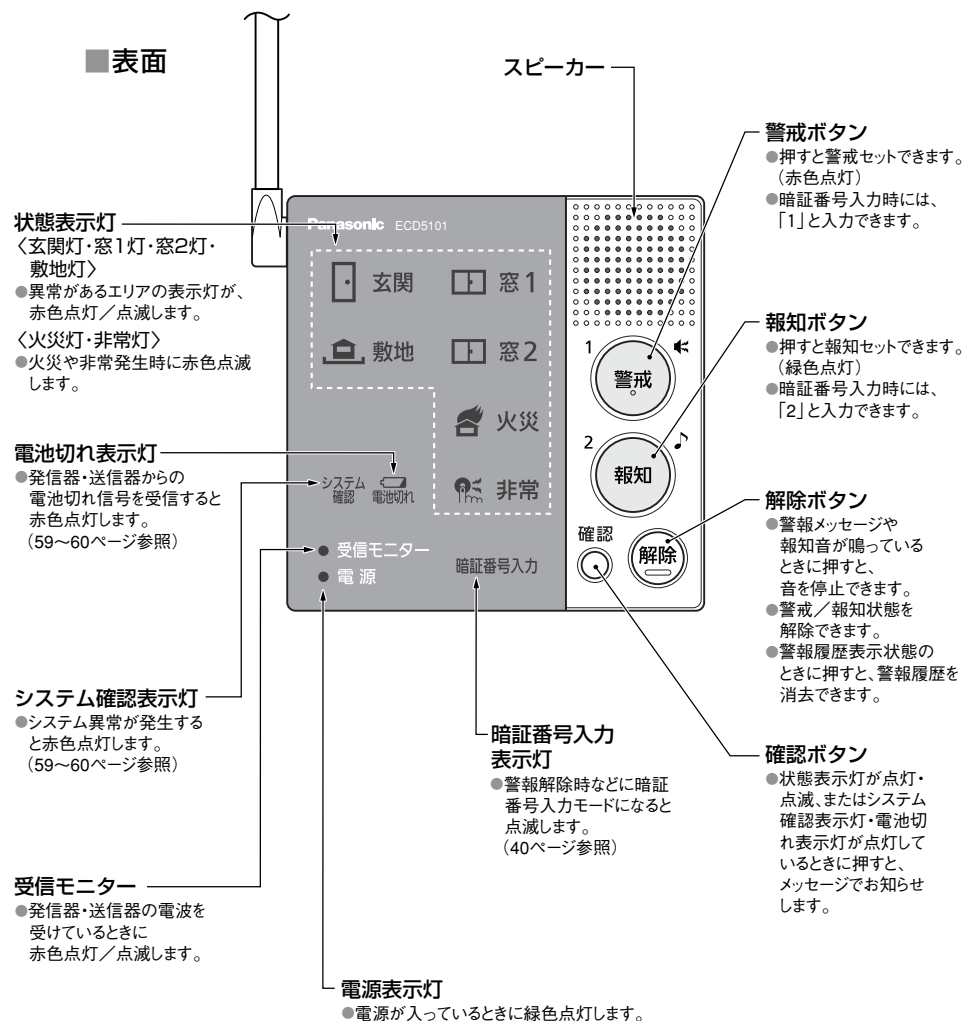
1 はじめに

1.1 各部のなまえとはたらき（使用時）	11～12
●1.1.1／状態表示灯の表示内容	12
1.2 ワイヤレスセキュリティシステムのしくみ	13～14
1.3 システム構成機器	15～16
1.4 発信器・送信器設置例	17～18

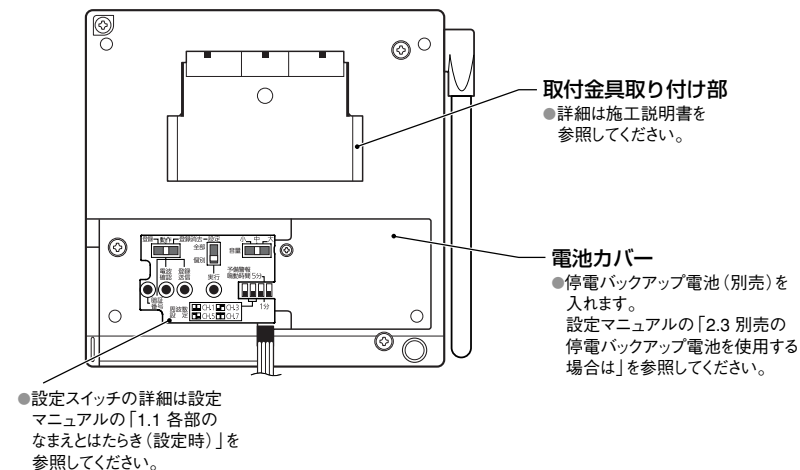
小電力型ワイヤレスセキュリティ受信器親機
(100V電源直結式) (ECD5101)

●各ボタンや表示灯のはたらきは設定時と使用時で異なります。
設定時のはたらきについては、設定マニュアルの「1.1 各部のなまえとはたらき（設定時）」を参照してください。

■表面



■裏面



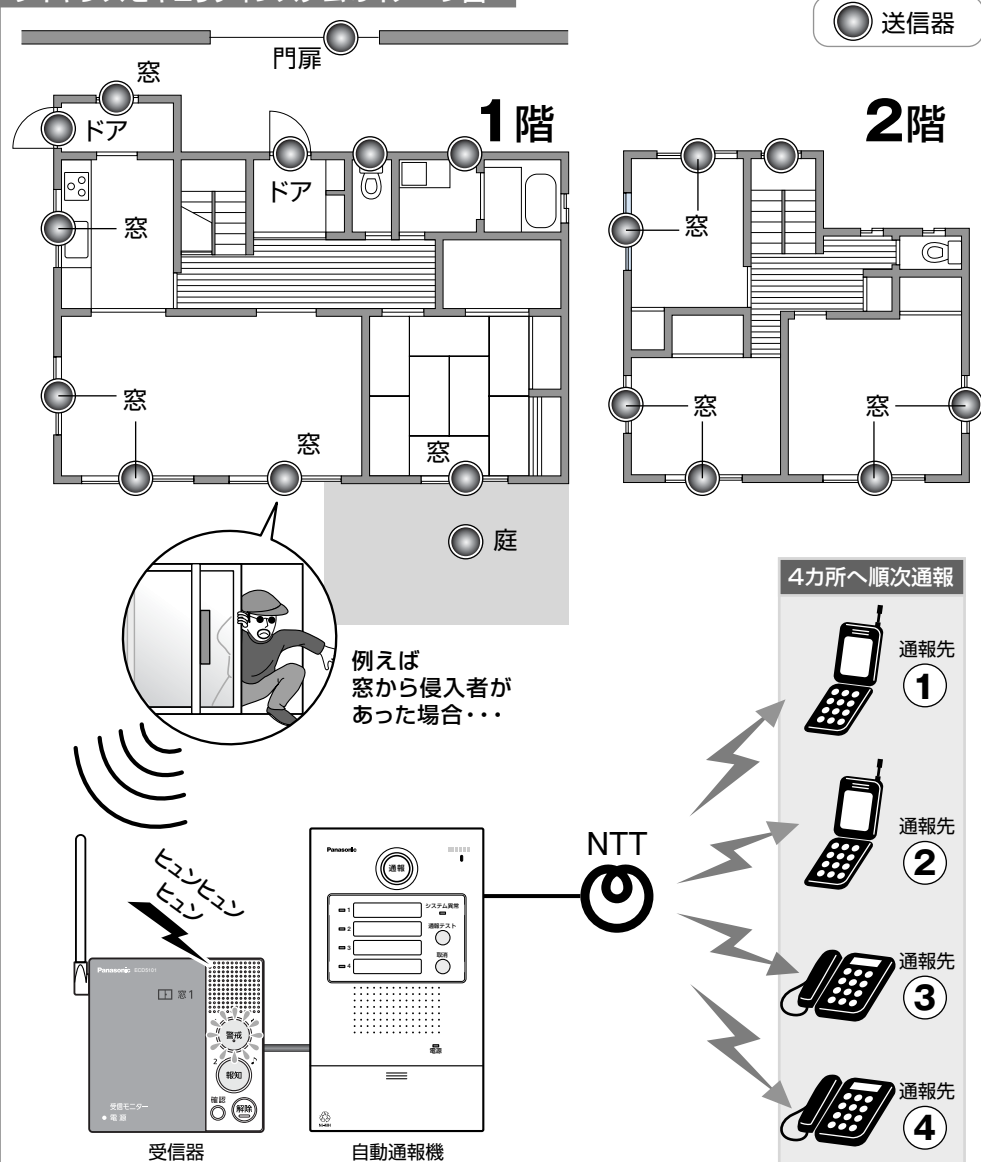
1.1.1 状態表示灯の表示内容

エリア 状態表示灯		玄関・窓1・窓2	敷 地	非 常	火 災
消 灯		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
赤 色 点 滅	警戒セット状態	窓や玄関を開けると、点滅し続けます。	・熱線センサー送信器が検知すると、約10秒間点滅後、消灯します。 ・門扉を開けると、約10秒間点滅します。	ペンダント発信器などが押されたことを示します。 または、非常警報が発生していたことを示します。 （履歴表示）	住宅用火災警報器が作動したことを示します。 または、火災警報が発生していたことを示します。 （履歴表示）
	報知セット状態	窓や玄関を開けると、10秒間点滅します。			
	非警戒状態	防犯警報が発生したことを表しています。 （履歴表示）	—		
赤 色 点 灯		窓や玄関が開いています。	門扉が開いています。	—	—

1.2 ワイヤレスセキュリティシステムのしくみ

- ワイヤレスセキュリティシステムでは、お客様の自宅の玄関や窓などを送信器によって警戒し、侵入者が検知された場合は電波を送信し、受信器から警報メッセージで異常をお知らせします。
また、自動通報機を使用することにより、電話回線を介してあらかじめ登録した通報先へ通報することもできます。

ワイヤレスセキュリティシステムのイメージ図



特長

◇ワイヤレスで受信器と発信器・送信器間の配線不要

◇簡単操作

表示灯や音声ガイダンスで異常が発生したエリアや操作方法をお知らせします。

◇送信器を30台まで登録可能

使用場所や用途に応じて豊富なバリエーションから選択できます。

◇くらし安心ホームシステムと接続可能

くらし安心ホームシステムとの接続ができます。(別売のネットアダプタ(ワイヤレスセキュリティ用)が必要です。)
「留守宅用心サービス」では、携帯電話で宅内の防犯警報などを確認したり、家の警戒セット状態を確認し、警戒セットし忘れていたら、携帯電話から警戒セットすることができます。(別途、サービスのご契約が必要です。詳しくはくらし安心ホームシステムおよびネットアダプタ側の説明書参照)

重要

◇発信器・送信器の登録

すべての発信器・送信器は、「ID番号」を持っています。これは、発信器・送信器の「名前」のような役割を果たします。
受信器は、事前に知らされているID番号の発信器・送信器からの電波のみを受信することができます。このため、ワイヤレスセキュリティシステムを使用する前に、発信器・送信器のID番号を受信器に知らせておく作業が必要となります。この作業が「登録」です。

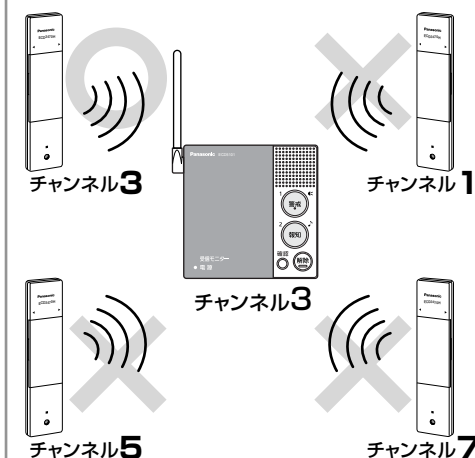


◇周波数チャンネル

受信器・発信器・送信器が使用する電波帯を「周波数チャンネル」と呼びます。

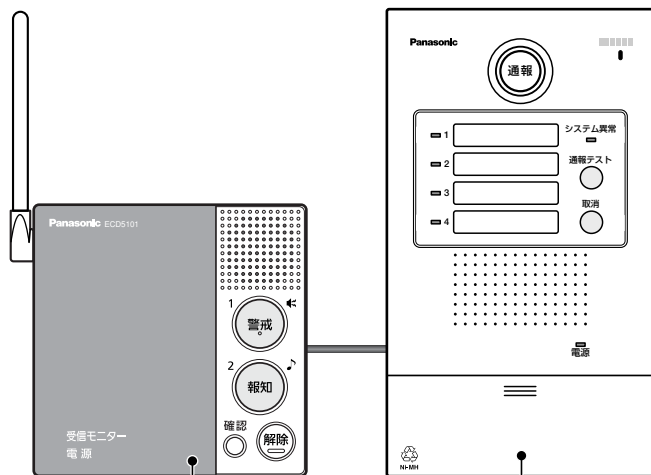
発信器・送信器が受信器に正しく登録されていても、同じ周波数チャンネルを使用するように設定されていない場合は、通信することはできません。**発信器・送信器と受信器は、必ず同じ周波数チャンネルに設定してください。**

また、近い周波数の電波が周囲に多数ある場合、電波を正常に受信できないことがあります。このような場合、周波数チャンネルを変更してください。周囲に近い周波数の電波があるかどうかは、受信モニターの点灯・点滅状態で確認することができます。



※電源を入れた際に、警戒、報知ボタンおよびすべての状態表示灯が点滅する場合は発信器・送信器が登録されていません。設定マニュアルにしたがい、発信器・送信器の登録を行うか、施工店へ相談してください。

1.3 システム構成機器



ECD5101

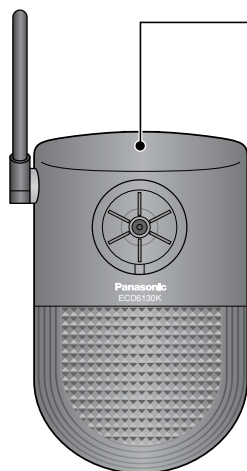
小電力型ワイヤレスセキュリティ受信器親機

警戒時に発信器・送信器からの電波を受信すると警報メッセージが鳴ります。
また、玄関や窓、クレセント錠の開閉状態を表示します。

WQNT102/WQNT103

自動通報機

受信器からの信号を受け、電話回線を使用して自動通報します。
WQNT102は通報ボタンがありません。
※自動通報機の接続は任意です。



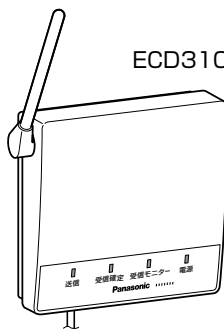
ECD6130K

警報ランプ付ブザー受信器

セキュリティ受信器から送られる信号を光と音で表示します。

電波中継に

ECD3100



小電力型ワイヤレス中継器 (2台まで)
発信器・送信器～受信器間の電波を中継し、電波の到達距離を伸ばします。

警戒や報知のセット・解除に



ECD3320
ECD3320P

小電力型
ワイヤレス警戒セット・解除発信器
(アンサーバック付)
遠隔操作で警戒セットや解除ができます。

組み合わせ可能な発信器・送信器

● 発信器・送信器の登録台数は警戒セット・解除発信器を除き合計30台まで。
警戒セット・解除発信器は合計7台まで。

玄関用

ECD3472A・H (防雨形)
ECD3472AP・HP (防雨形)

小電力型ワイヤレス
ドアセンサー送信器
(受信器連動警報機能付)
ドアの開閉を検知し、電波を送信します。
窓1・窓2用のECD2472A・Hは玄関用にも
使用できます。



敷地(屋外警戒)用

ECD3474A・H (防雨形)
ECD3474AP・HP (防雨形)

門扉用

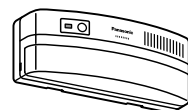
小電力型ワイヤレス門扉センサー送信器
(受信器連動警報機能付)
門扉の開閉を検知し、電波を送信します。



ECD3420A・H
ECD3420AP・HP

敷地用

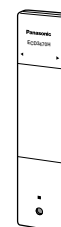
小電力型ワイヤレス熱線センサー送信器(屋側用)
建物付近の侵入者を検知し、電波を送信します。



窓1・窓2用

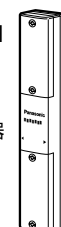
ECD3470A・H (防沫形)
ECD3470AP・HP (防沫形)

窓の開閉検知(クレセント錠付)
小電力型ワイヤレス窓センサー送信器
(受信器連動警報機能付)
窓、クレセント錠の開閉を検知し、
電波を送信します。
防沫形なので浴室の窓にも使えます。



ECD2472A・H
ECD24721A・H (防沫形)

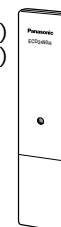
窓の開閉検知(クレセント錠なし)
小電力型ワイヤレスドア・窓センサー送信器
(警報音なし)
ドアや窓の開閉を検知し、電波を送信します。
防沫形のECD24721A・Hは浴室の窓にも
使えます。



ECD2490A・H (防沫形)
ECD2490AP・HP (防沫形)

窓ガラスの破壊検知

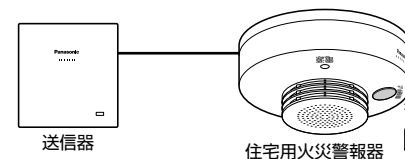
小電力型ワイヤレス
窓ガラス破壊センサー送信器
窓ガラスが割れたことを検知し、電波を送信
します。
防沫形なので浴室の窓にも使えます。



火災時の警報用

小電力型ワイヤレス
接点入力送信器
(火災・ガス対応型) (1入力用)
住宅用火災警報器が作動すると電波を送信します。

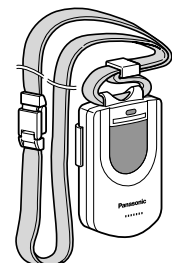
ECD2411
+
SH28413 (例)



非常時の連絡用

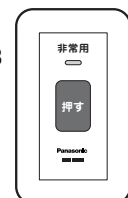
ECD2305

小電力型ワイヤレス
ペンダント発信器
ボタンが押されると、
電波を送信します。
首にかけられるタイプです。



ECD2308

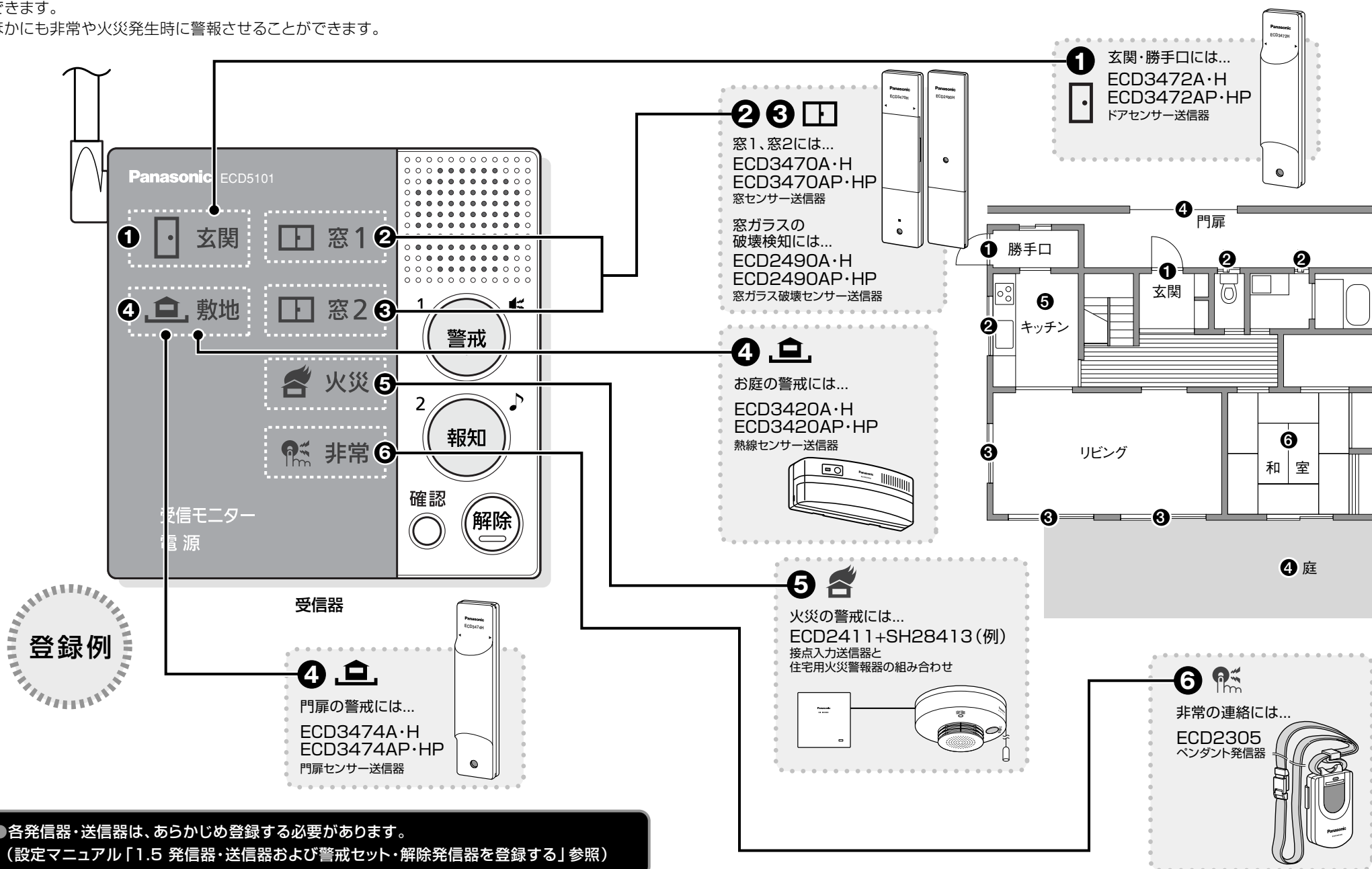
小電力型ワイヤレス
壁掛発信器
ボタンが押されると、電波を送信します。
壁に取り付けるタイプです。



1.4 発信器・送信器設置例

- 発信器・送信器を登録することにより、「玄関・窓1・窓2・敷地」の防犯報知/防犯警戒を行うことができます。

ほかにも非常や火災発生時に警報させることができます。



- 各発信器・送信器は、あらかじめ登録する必要があります。
(設定マニュアル「1.5 発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を登録する」参照)

2 通常時の使いかた

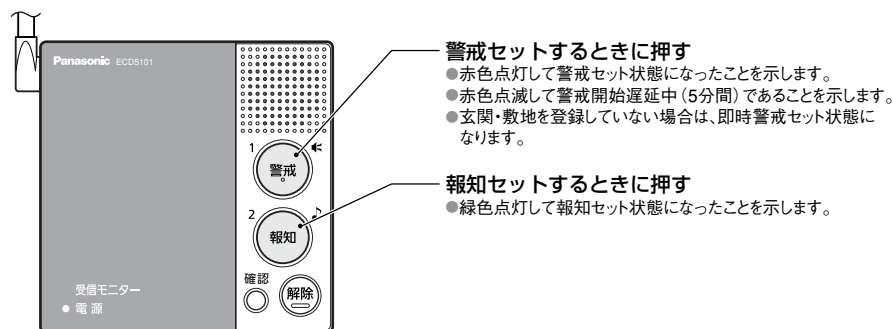
2.1 警戒／報知／非警戒状態について	21～24
● 2.1.1 各状態の動作	22～23
● 2.1.2 セット／解除のしかた	24
2.2 外出時の警戒セット操作	25
● 2.2.1 外出時に警戒セットするには	25
2.3 就寝時の警戒セット操作	26～27
● 2.3.1 就寝時に警戒セットするには	26
● 2.3.2 窓を開けたまま警戒セットするには	27
2.4 在宅時の報知セット操作	28
2.5 帰宅時の警戒解除操作	29～30

2.1 警戒／報知／非警戒状態について

つづく

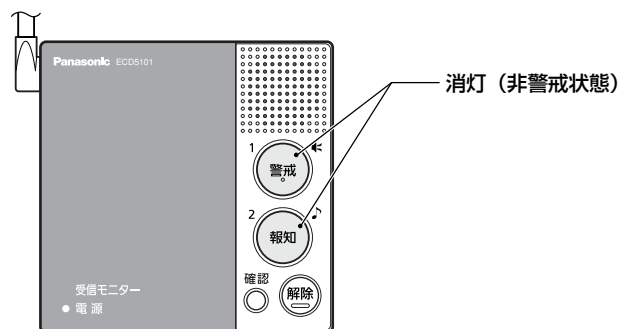
■ 警戒／報知セット状態

- 外出や在宅といった生活の状態に合わせて、警戒ボタン／報知ボタンを押して設定します。
- 窓ガラスの破壊・火災・非常は、受信器の警戒／報知セット状態にかかわらず、異常を検知すると警報します。



■ 非警戒状態

- 警戒ボタンと報知ボタンがどちらも消灯している場合は、非警戒状態となります。
- 窓ガラスの破壊・火災・非常は非警戒状態であっても異常を検知すると警報します。



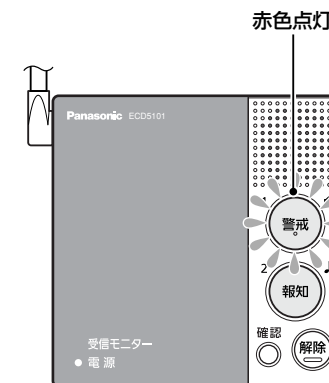
- 各状態の詳細については、22～23ページを参照してください。

注・自動通報機を接続していない場合は、自動通報は行われません。

2.1.1 各状態の動作

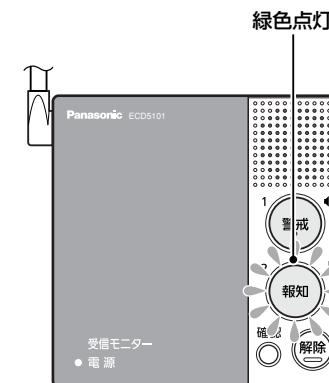
警戒セット状態 (外出時・就寝時)

- 玄関、窓1、窓2の防犯警戒を行います。
- 玄関および敷地では、受信器で警戒セットを行ってから外出するまでの警戒開始遅延時間(5分間)が設定されているため、その間は玄関を通っても警報されません。また、帰宅時は玄関を通っても即時警報しないように警戒解除するまでに予備警報が鳴ります。(1分間)
- 敷地エリアで検知すると報知音が鳴ります。
- 窓ガラスの破壊、非常、火災異常を検知すると警報状態になります。
- 自動通報機を接続している場合、警報発生時は電話回線で自動通報が行われます。



報知セット状態 (在宅時)

- 受信器の状態表示灯の点灯／消灯で玄関、窓1、窓2、敷地の戸締まり確認ができます。(23ページの「非警戒状態」参照)
- 玄関、窓1、窓2エリアで検知すると報知音が鳴ります。
- 敷地エリアで検知すると報知音が鳴ります。
- 窓ガラスの破壊、非常、火災異常を検知すると警報状態になります。
- 自動通報機を接続している場合、警報発生時は電話回線で自動通報が行われます。



非警戒状態

状態表示灯で戸締り確認
[例:窓1が開いていると、窓1灯が点灯]

- 受信器の状態表示灯の点灯／消灯で玄関、窓1、窓2、敷地の戸締り確認ができます。
- 窓ガラスの破壊、非常、火災異常を検知すると警報状態になります。
- 自動通報機を接続している場合、警報発生時は電話回線で自動通報が行われます。

警戒開始遅延時間

- 非警戒状態から、受信器の警戒ボタンを押すと、窓1・窓2は、即時警戒セット状態になりますが、玄関と敷地のみ、5分遅れで警戒セット状態になります。(警戒開始遅延時間)

エリア	項目	警戒ボタンを押したとき	報知ボタンを押したとき
玄関		5分後に警戒 ※	即時報知
窓1		即時警戒	
窓2		即時警戒	
敷地		5分後に警戒 ※	

※警戒ボタンをもう一度押すと、即時警戒セットされます。

予備警報時間

- 警戒セット状態で、窓1・窓2が開けられると、即時防犯警報メッセージが鳴りますが、玄関が開けられると、予備警報メッセージが1分間鳴った後(予備警報時間)に、防犯警報メッセージが鳴ります。
- 警戒セット状態で、敷地用の送信器が検知すると、受信器で即時敷地報知音が鳴ります。

エリア	項目	警戒中に送信器が検知した場合の、受信器の鳴動音
玄関		予備警報メッセージ鳴動 ⇒ 1分後防犯警報メッセージ鳴動
窓1		即時防犯警報メッセージ鳴動
窓2		即時防犯警報メッセージ鳴動
敷地		即時敷地報知音鳴動

設定変更

玄関の予備警報時間を「5分間」に設定変更できます。
詳しくは設定マニュアルの「1.9 機能を設定する」を参照してください。

2.1.2 セット／解除のしかた

注・警報メッセージが鳴っているときは警報を解除してから変更してください。

非警戒状態(警戒ボタン／報知ボタンが消灯)⇒警戒／報知セット状態に変更する

警戒 または 報知 セットしたいボタンを押す ⇒ 押したボタンが点灯します。

(例) 警戒セット状態に変更

- 警戒セットするときを押す
 - 赤色点灯して警戒セット状態になったことを示します。
 - 赤色点滅して警戒開始遅延中(5分間)であることを示します。
 - 玄関・敷地を登録していない場合は、即時警戒セット状態になります。
- 報知セットするときを押す
 - 緑色点灯して報知セット状態になったことを示します。

警戒セット状態⇄報知セット状態に変更する

警戒 または 報知 セットしたいボタンを押す ⇒ 押したボタンが点灯します。(直前に選ばれていたボタンは消灯する。)

(例) 報知セット状態に変更

警戒／報知セット状態⇒非警戒状態に変更する

解除 ボタンを押す ⇒ すべてのボタンが消灯します。(非警戒状態)

(例) 警戒セット状態から非警戒状態に変更

- 警戒セット状態から非警戒状態にする場合、暗証番号を設定することもできます。(39・40ページ参照)

2.2 外出時の警戒セット操作

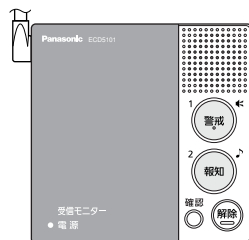
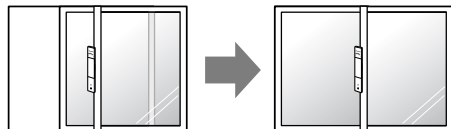
2.2.1 外出時に警戒セットするには

- 外出するときは、警戒ボタンを押して警戒セット状態にします。

1

玄関や窓を閉め、クレセント錠をロックし、戸締りを確認する

- 状態表示灯がすべて消灯していることを確認してください。



状態表示灯がすべて消灯

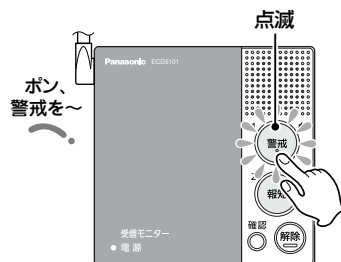
2

警戒ボタンを押す

- 「ボン、警戒を受け付けました 5分後に警戒を開始します」が鳴り、玄関と敷地が警戒開始遅延状態、窓1と窓2が警戒セット状態になります。
- 玄関・敷地を登録していない場合は、即時警戒セット状態になります。

警戒セット・解除発信器を使えば

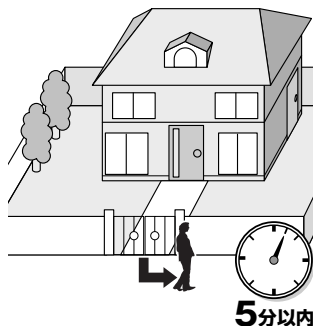
受信器で警戒ボタンを押さずに、即時警戒セット状態にすることができます。(52ページ参照)



3

5分以内に敷地内から外出する

- 5分経過すると、玄関と敷地が警戒セット状態になります。
- 「ボン、警戒を開始しました」が鳴り、警戒ボタンが赤色点灯に変わります。
- 警報ランプ付ブザー受信器をお使いの場合は、警報ランプが点灯し、宅外でも警戒セット中をお知らせできます。(警報ランプ付ブザー受信器の説明書を参照してください。)



5分以内

留守中

※玄関や窓などに異常が発生した場合は、送信器が動作して異常を知らせます。(35～37ページ参照)

2.3 就寝時の警戒セット操作

つづく

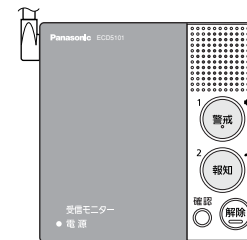
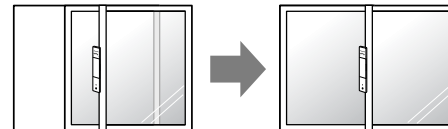
2.3.1 就寝時に警戒セットするには

- 就寝時など、家にいながら、家中を警戒セット状態にするときに操作します。

1

玄関や窓を閉め、クレセント錠をロックし、戸締りを確認する

- 状態表示灯がすべて消灯していることを確認してください。

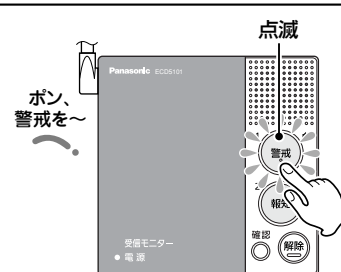


状態表示灯がすべて消灯

2

警戒ボタンを押す

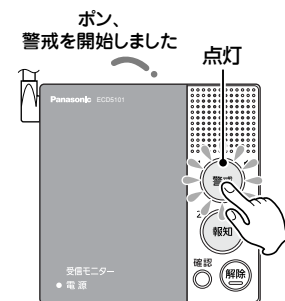
- 「ボン、警戒を受け付けました 5分後に警戒を開始します」が鳴り、玄関と敷地が警戒開始遅延状態、窓1と窓2が警戒セット状態になります。
- 玄関・敷地を登録していない場合は、即時警戒セット状態になります。



3

もう一度警戒ボタンを押す

- 「ボン、警戒を開始しました」が鳴り、玄関、窓1、窓2、敷地すべてが警戒セット状態になります。
- 警戒ボタンが赤色点灯に変わります。
- 警報ランプ付ブザー受信器をお使いの場合は、警報ランプが点灯し、宅外でも警戒セット中をお知らせできます。(警報ランプ付ブザー受信器の説明書を参照してください。)



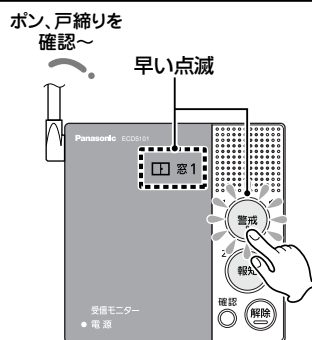
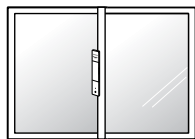
2.3.2 窓を開けたまま警戒セットするには

- たとえば、親が寝ている部屋は警戒セットしたいけど、勉強中の子供部屋は窓を開けておきたいなど、特定のエリアだけ警戒セット状態に移行するのを遅らせることができます。

1

一部の窓を戸締りしていない状態で警戒ボタンを押す

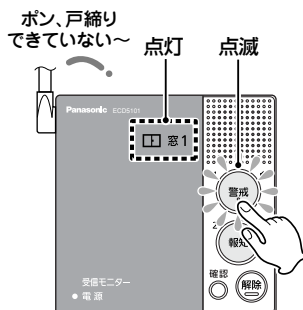
- 戸締り確認メッセージ「ボン、戸締りを確認してください」が鳴り、警戒ボタン、戸締りしていない窓 (例: 窓1) の表示灯が早く点滅します。



2

10秒以内にもう一度警戒ボタンを押す

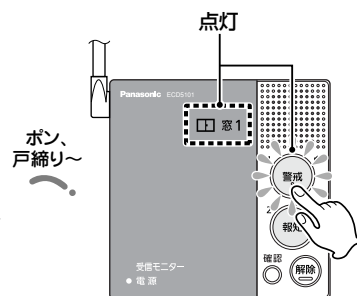
- 「ボン、戸締りできていない窓を除いて、警戒を受け付けました 5分後に警戒を開始します」が鳴り、戸締りされていない窓以外の窓が警戒セット状態になります。(戸締りしていない窓 (例: 窓1) の表示灯が点灯します。)
- 玄関と敷地は警戒開始遅延状態になります。
- 玄関・敷地を登録していない場合は、即時警戒セット状態になります。
- 10秒以内に警戒ボタンを押さない場合は、警戒ボタンが消灯します。



3

もう一度警戒ボタンを押す

- 「ボン、戸締りできていない窓を除いて、警戒を開始しました」が鳴り、玄関と敷地が警戒セット状態になります。
- その後、戸締りされていなかった窓の戸締りをした場合は、その窓も警戒セット状態になります。
- 警戒状態になると、窓1灯は消灯します。



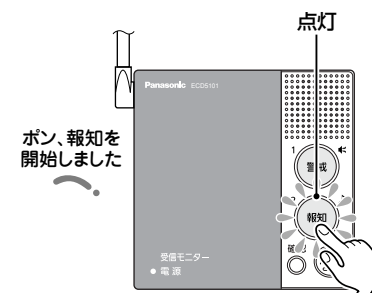
2.4 在宅時の報知セット操作

- 家にいるときに、窓や玄関が開いたり、敷地内に誰かがいることを知りたいときは、報知ボタンを押して報知セット状態にします。

1

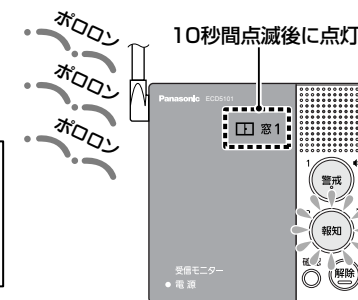
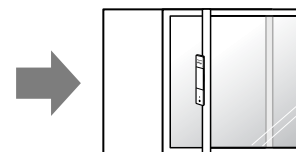
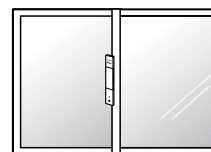
報知ボタンを押す

- 「ボン、報知を開始しました」が鳴り、玄関、窓1、窓2、敷地が報知セット状態になります。



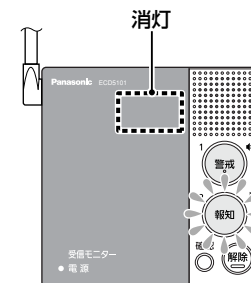
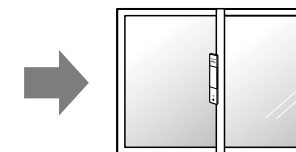
窓1を開けたとき

- 窓1灯が点滅し、報知音「ポロロン」が3回鳴ります。



窓1を閉めたとき

- 窓1灯が消灯し、戸締りされたことを表します。



2.5 帰宅時の警戒解除操作

1

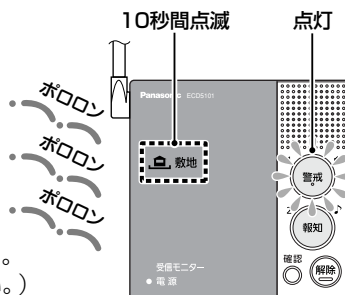
門扉用の送信器が検知すると



- 敷地灯が10秒間点滅し、報知音「ポロロン」が3回鳴ります。
- 警報ランプ付ブザー受信器をお使いの場合は、警報ランプ付ブザー受信器でも敷地報知動作を行います。（警報ランプ付ブザー受信器の説明書を参照してください。）

警戒セット・解除発信器を使えば

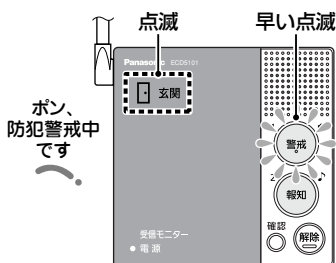
警戒セットを解除してから敷地の中に入ることができます。（54ページ参照）



2

玄関を開ける

- 玄関灯が赤色点滅し、予備警報メッセージ「ボン、防犯警戒中です」が鳴り、予備警報状態（1分間）となります。

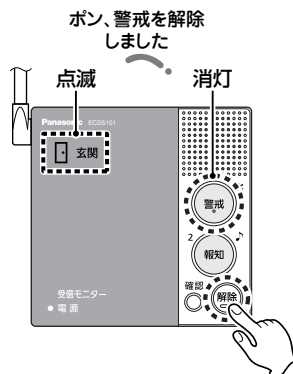


3

解除ボタンを押す

- 暗証番号入力表示灯が点滅した場合は、暗証番号が設定されています。40ページを参照して暗証番号を入力してください。
- 予備警報メッセージが止まって「ボン、警戒を解除しました」が鳴り、非警戒状態になります。
- 玄関灯は点滅し続けます。（警報履歴表示状態）

※・解除操作は玄関を入れてから1分以内に行ってください。1分を過ぎると防犯警報となり、自動通報機が接続されている場合は、宅外へ通報が行われます。ただし、予備警報時間は「5分」に変更できます。詳しくは、設定マニュアルの「1.9 機能を設定する」を参照してください。

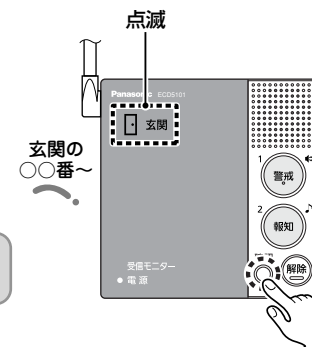


4

確認ボタンを押して警報履歴を確認する

- 確認メッセージ「玄関の〇〇番 異常がありました 確認してください」が鳴ります。（〇〇には発信器・送信器の登録番号をお知らせします。）

電池切れやシステム異常が起きている場合は、その内容を伝えるメッセージも鳴ります。

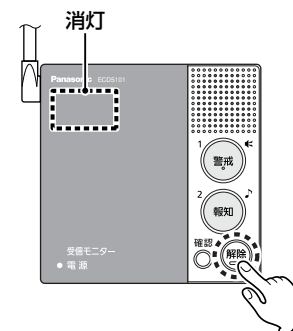


5

解除ボタンを押して警報履歴を消去する

- 玄関灯が消灯します。

手順4で確認ボタンを押さずに、解除ボタンを押しても警報履歴は消去されます。

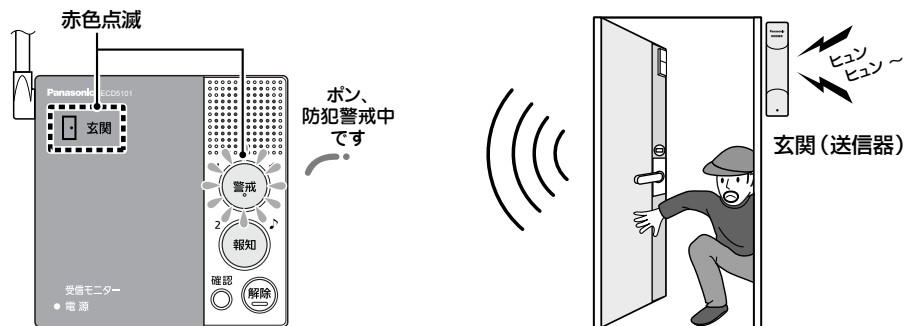


3 異常時の使いかた

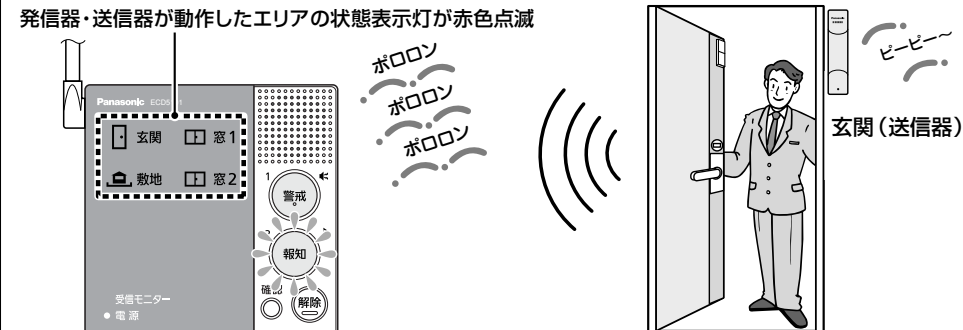
3.1 警戒／報知の動作	33～38
● 3.1.1／警戒中に玄関を開けると	35
● 3.1.2／警戒中に窓を開けると	36
● 3.1.3／警戒中に敷地用の送信器が検知すると	37
● 3.1.4／報知中に玄関や窓が開く、または敷地用の送信器が検知すると	38
● 3.1.5／非警戒中に玄関や窓、門扉を開けると	38
3.2 予備警報、防犯警報の解除方法	39～40
● 3.2.1／暗証番号を設定していない場合	39
● 3.2.2／暗証番号を設定している場合	40
3.3 防犯警報が鳴ったとき（窓ガラスが破壊された場合）	41
3.4 火災警報が鳴ったとき	42
3.5 非常警報を鳴らすには	43
3.6 停電になったら	44～46
● 3.6.1／停電バックアップ電池がない場合	44～45
● 3.6.2／停電バックアップ電池がある場合	46
3.7 各警報の優先順位	47
3.8 状態表示灯が点滅し続けるとき	48

3.1 警戒／報知の動作

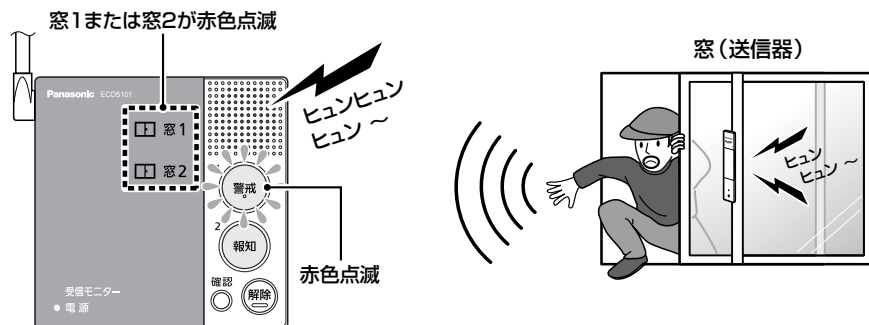
警戒中に玄関を開けると ●詳細は35ページ参照。



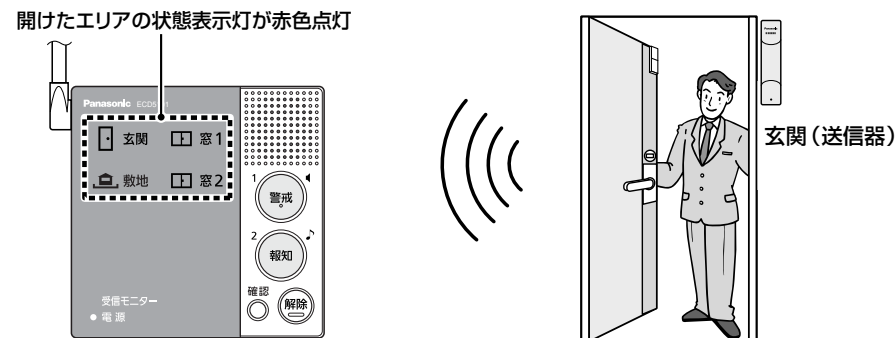
報知中に玄関や窓が開く、または敷地用の送信器が検知すると ●詳細は38ページ参照。



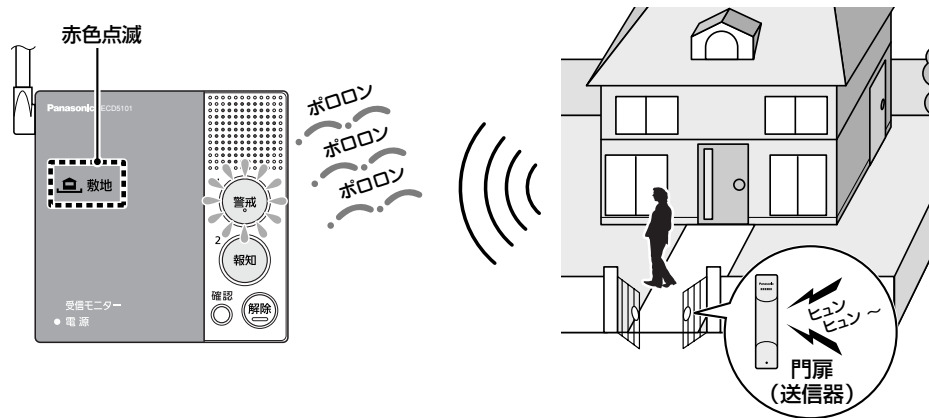
警戒中に窓を開けると ●詳細は36ページ参照。



非警戒中に玄関や窓、門扉を開けると ●詳細は38ページ参照。



警戒中に敷地用の送信器が検知すると ●詳細は37ページ参照。



●警報メッセージを止めたい場合は、39～40ページを参照してください。

●窓ガラス破壊センサー送信器を使用している場合、窓ガラスが破壊された場合も、防犯警報します。41ページを参照してください。

3.1.1 警戒中に玄関を開けると



① 警戒ボタンと玄関灯が赤色点滅する

- 1分間の予備警報状態になります。

② 予備警報メッセージ「ボン、防犯警戒中です」が鳴る

- 送信器から警報音「ヒュンヒュンヒュン」が約1分間鳴ります。

③ 警報解除操作を行う (39～40ページ参照)

- 予備警報メッセージが鳴り始めてから、1分以内に解除を行ってください。解除を行うと、受信器のメッセージ、および送信器の警報音は停止します。
- 解除後も玄関灯は点滅し続けます。(警報履歴表示状態)

④ 解除操作を行わない場合は、1分後に警報メッセージ「ヒュンヒュンヒュン、防犯異常発生」が鳴る

- 送信器の警報音が止まります。
- 警報ランプ付ブザー受信器の警報音が鳴ります。
- 自動通報機へ出力します。

⑤ 約5分間警報メッセージが鳴り続けた後、自動的に警報メッセージが止まる

⑥ 防犯警報状態を解除するには、解除操作を行う (39～40ページ参照)

注・自動的に警報メッセージが止まった後も、玄関・窓を開けると警報メッセージが5分間再度鳴ります。この場合、玄関でも予備警報状態にならずに、即時防犯警報します。

・防犯警報の解除操作を行うと、受信器の警報メッセージおよび送信器の警報音は止まり、警報ランプ付ブザー受信器や自動通報機への出力も停止します。非警戒状態となり、状態表示灯は点滅し続けます。(警報履歴表示状態)

設定変更

- ・予備警報時間を「5分間」に設定変更できます。詳しくは設定マニュアルの「1.9 機能を設定する」を参照してください。
- ・送信器からの警報音を報知音「ピーピーピー」に設定変更できます。報知音は約3秒間で停止します。(受信器から報知音を止めることはできません。) また、送信器から音を鳴らさないようにすることもできます。詳しくは送信器に付属の説明書を参照してください。

3.1.2 警戒中に窓を開けると



① 警戒ボタンと窓1灯または窓2灯が赤色点滅する

② 警報メッセージ「ヒュンヒュンヒュン、防犯異常発生」が鳴る

- 送信器から警報音「ヒュンヒュンヒュン」が約1分間鳴ります。
- 警報ランプ付ブザー受信器の警報音が鳴ります。
- 自動通報機へ出力します。

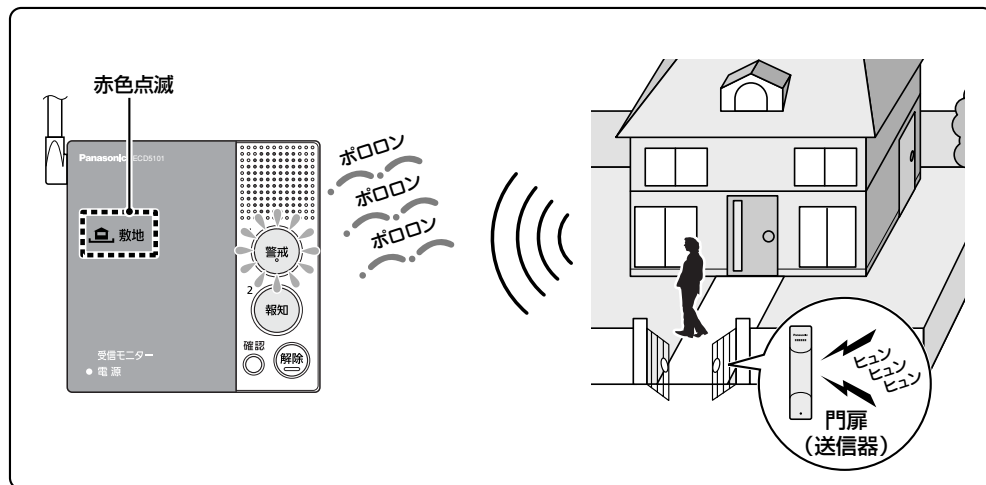
③ 約5分間警報メッセージが鳴り続けた後、自動的に警報メッセージが止まる

④ 防犯警報状態を解除するには、解除操作を行う (39～40ページ参照)

注・自動的に警報メッセージが止まった後も、玄関・窓を開けると警報メッセージが5分間再度鳴ります。この場合、玄関でも予備警報状態にならずに、即時防犯警報します。

・防犯警報の解除操作を行うと、受信器の警報メッセージおよび送信器の警報音は止まり、警報ランプ付ブザー受信器や自動通報機への出力も停止します。非警戒状態となり、状態表示灯は点滅し続けます。(警報履歴表示状態)

3.1.3 警戒中に敷地用の送信器が検知すると



① 敷地灯が赤色点滅する

- 警戒ボタンは赤色点灯のままです。

② 報知音「ポロロン」が3回鳴る

- 送信器から警報音「ヒュンヒュンヒュン」が約10秒間鳴ります。
- 警報ランプ付ブザー受信器が敷地報知動作します。
- 受信器の報知音は3回鳴ると停止します。

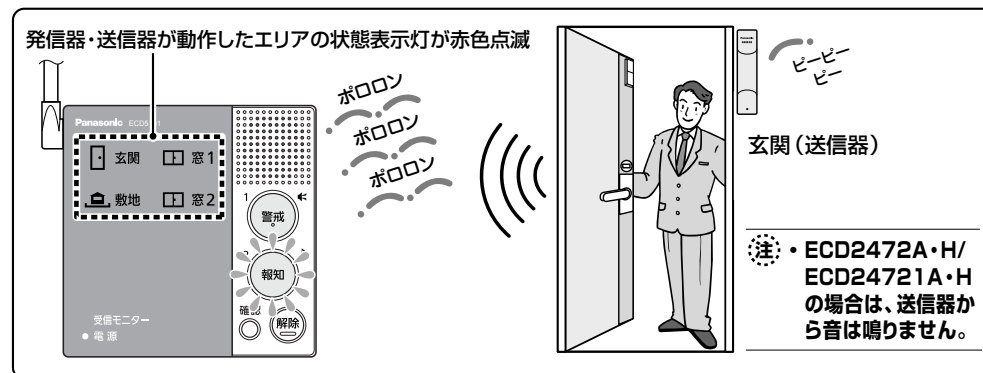
③ 約10秒後に敷地灯が消灯する

- 警報ランプ付ブザー受信器の表示も消灯します。
- 門扉が開いたままの場合は、敷地灯が点灯します。

設定変更

- ・ 送信器からの警報音を報知音「ピーピーピー」で設定変更できます。報知音は約3秒間で停止します。
- また、送信器から音を鳴らさないようにすることもできます。
- 詳しくは送信器に付属の説明書を参照してください。

3.1.4 報知中に玄関や窓が開く、または敷地用の送信器が検知すると



① 発信器・送信器が動作したエリアの状態表示灯が赤色点滅する

- 報知ボタンは緑色点灯のままです。

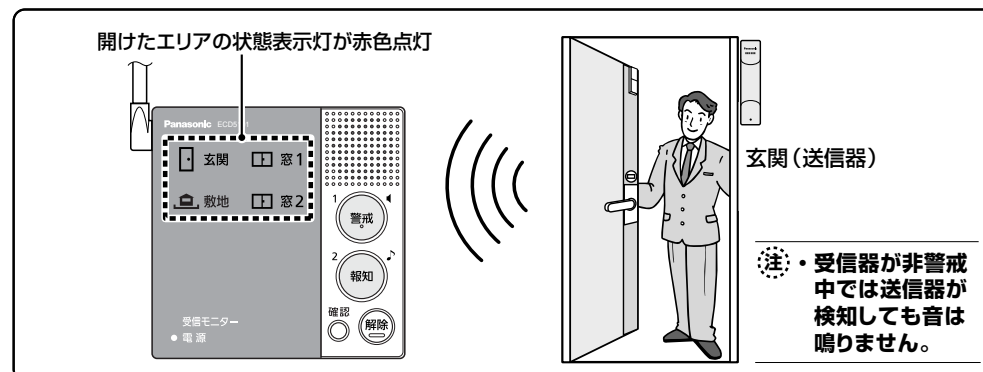
② 報知音「ポロロン」が3回鳴る

- 送信器から報知音「ピーピーピー」が約3秒間鳴ります。
- 受信器の報知音は3回鳴ると停止します。

③ 約10秒後にエリアの状態表示灯が消灯する

- 玄関・窓・門扉が開いたままの場合は、そのエリアの状態表示灯が点灯します。

3.1.5 非警戒中に玄関や窓、門扉を開けると



① 開けたエリアの状態表示灯が赤色点灯する

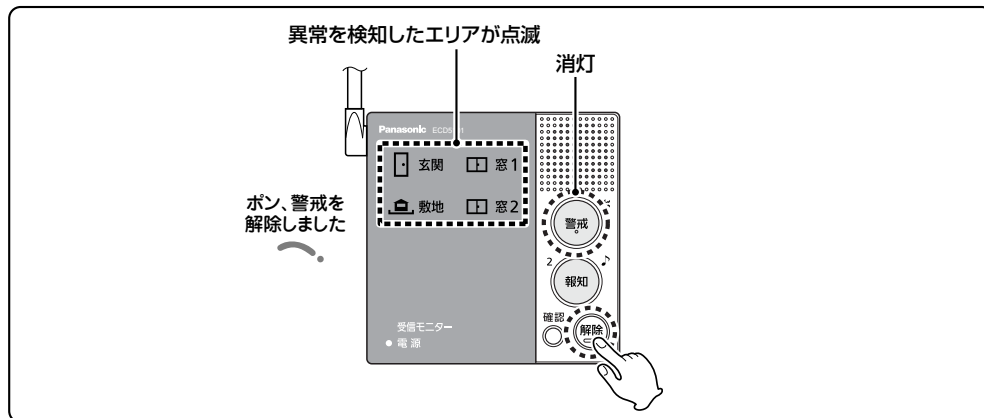
- 状態表示灯の点灯/消灯で戸締り状態が一目でわかります。

② 戸締りが完了すると、状態表示灯が消灯する

3.2 予備警報、防犯警報の解除方法

- 警報を解除する場合は、暗証番号を設定しているかどうかによって下記のように解除の操作が異なります。(暗証番号を設定している場合は、解除ボタンを押すと暗証番号入力表示灯が点滅) 暗証番号の設定方法は、設定マニュアルの「1.8 暗証番号を設定する」を参照してください。
- 警報を解除すると、警報ランプ付ブザー受信器の警報音、自動通報機への出力も停止します。

3.2.1 暗証番号を設定していない場合



① 解除ボタンを押す

- 警報メッセージが止まり、「ボン、警戒を解除しました」と鳴り、警戒が解除されます。
- 状態表示灯は点滅し続けます。(警報履歴表示状態)

注・警報を解除すると、警報ランプ付ブザー受信器および自動通報機への出力も停止します。

② 確認ボタンを押して警報履歴を確認する

- 確認メッセージ(例)「玄関の〇〇番、異常がありました 確認してください」が鳴ります。

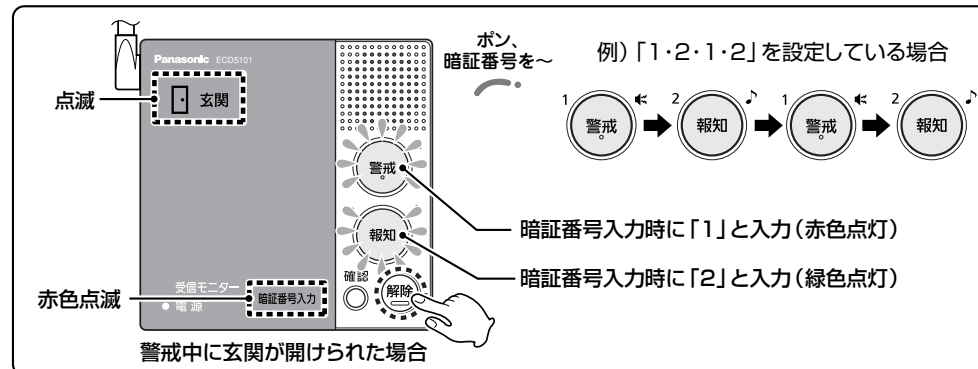
・電池切れやシステム異常が起きている場合は、その内容を伝えるメッセージが鳴ります。

③ 解除ボタンを押して警報履歴を消去する

- 状態表示灯が消灯します。

・手順2で確認ボタンを押さずに、解除ボタンを押しても警報履歴は消去されます。

3.2.2 暗証番号を設定している場合



① 解除ボタンを押す

- 予備警報中の場合は、予備警報メッセージがいったん停止します。
- 防犯警報中の場合は、警報メッセージが鳴り続けます。

② 暗証番号入力表示灯が点滅し、警戒ボタンと報知ボタンが点灯する

- メッセージ「ボン、暗証番号を入力してください」が鳴ります。

注・防犯警報中は、警報メッセージが優先のためメッセージは聞こえません。

③ 警戒ボタンと報知ボタンを組み合わせる4ケタの暗証番号を入力する

- 例:「1・2・1・2」と設定している場合
警戒ボタン(1)→報知ボタン(2)→警戒ボタン(1)→報知ボタン(2)の順に押します。
- 警報メッセージが止まり、警戒状態が解除されます。ただし、状態表示灯(上図の例では、玄関灯)は点滅し続けます。(警報履歴表示状態)
- 暗証番号が間違っている場合は、警報メッセージが鳴り続けます。再度手順1からやり直してください。

注・予備警報中に暗証番号入力を3回間違えると、予備警報時間内(1分)であっても警報メッセージが鳴ります。
・警報を解除すると、警報ランプ付ブザー受信器および自動通報機への出力も停止します。

④ 確認ボタンを押して警報履歴を確認する

- 確認メッセージ(例)「玄関の〇〇番、異常がありました 確認してください」が鳴ります。

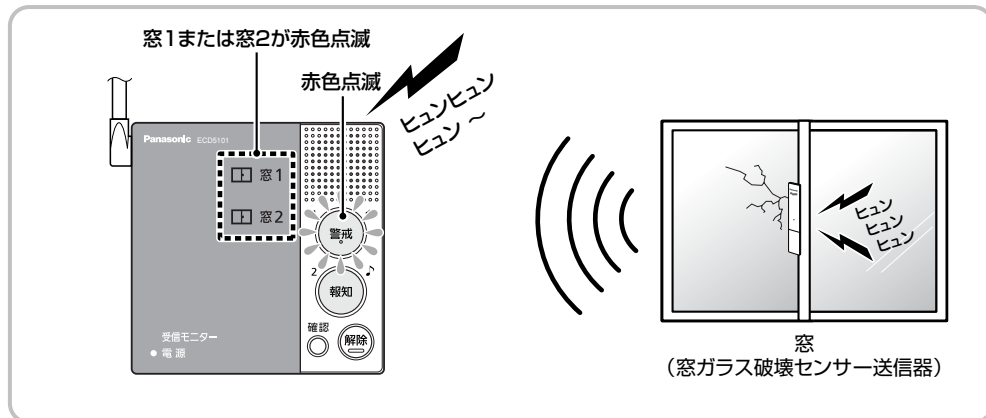
・電池切れやシステム異常が起きている場合は、その内容を伝えるメッセージが鳴ります。

⑤ 解除ボタンを押して警報履歴を消去する

- 状態表示灯が消灯します。

・手順4で確認ボタンを押さずに、解除ボタンを押しても警報履歴は消去されます。

3.3 防犯警報が鳴ったとき（窓ガラスが破壊された場合）



- ※・窓ガラス破壊センサー送信器が窓ガラスが破壊されたことを検知した場合は、受信器が警戒／報知セット状態、および非警戒状態にかかわらず、防犯警報します。
・送信器の警報音は受信器から停止することはできません。

① 窓ガラス破壊センサー送信器が窓ガラスが破壊されたことを検知する

② 窓1灯または窓2灯と警戒ボタンが赤色点滅する

③ 受信器から警報メッセージ「ヒュンヒュンヒュン、防犯異常発生」が鳴る

- 送信器から警報音「ヒュンヒュンヒュン」が約1分間鳴ります。
- 警報ランプ付ブザー受信器の警報音が鳴ります。
- 自動通報機へ出力します。

④ 解除ボタンを押すと、受信器の警報メッセージが停止する

- 警戒ボタンは消灯し、窓1灯または窓2灯は点滅し続けます。（警報履歴表示状態）
- 警報ランプ付ブザー受信器の警報音と警報表示も停止します。
- 自動通報機への出力も停止します。

⑤ 確認ボタンを押して警報履歴を確認する

- 確認メッセージ「窓1（または窓2）の〇〇番 異常がありました 確認してください。」が鳴ります。

・電池切れやシステム異常が起きている場合は、その内容を伝えるメッセージが鳴ります。

⑥ 解除ボタンを押して警報履歴を消去する

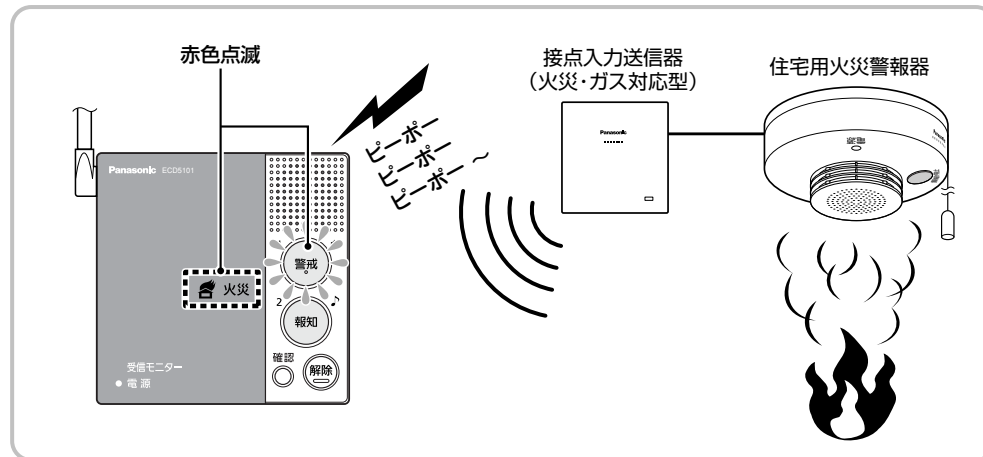
- 窓1灯または窓2灯が消灯します。

・手順5で確認ボタンを押さずに、解除ボタンを押しても警報履歴は消去されます。

警報時の処置

- 警報内容を確認のうえ、適切な処置を行ってください。

3.4 火災警報が鳴ったとき



- ※・住宅用火災警報器の警報が鳴っているときに受信器の解除ボタンを押すと、受信器の警報メッセージと警報ランプ付ブザー受信器の警報音は停止しますが、受信器と警報ランプ付ブザー受信器の警報表示は消えません。
・住宅用火災警報器の警報が復旧すると、警報履歴表示状態になります。

① 住宅用火災警報器が火災を検知する

② 火災灯と警戒ボタンが赤色点滅する

③ 受信器から警報メッセージ「ピーポーピーポーピーポー、火災警報器が作動しました 確認してください」が鳴る

- 警報ランプ付ブザー受信器の警報音が鳴ります。
- 自動通報機へ出力します。

④ 住宅用火災警報器が復旧すると、受信器の警報メッセージが停止する

- 警戒ボタンは消灯し、火災灯は点滅し続けます。（警報履歴表示状態）
- 警報ランプ付ブザー受信器の警報音と警報表示も停止します。
- 自動通報機への出力も停止します。

⑤ 確認ボタンを押して警報履歴を確認する

- 確認メッセージ「火災警報器の〇〇番 異常がありました 確認してください」が鳴ります。

・電池切れやシステム異常が起きている場合は、その内容を伝えるメッセージが鳴ります。

⑥ 解除ボタンを押して警報履歴を消去する

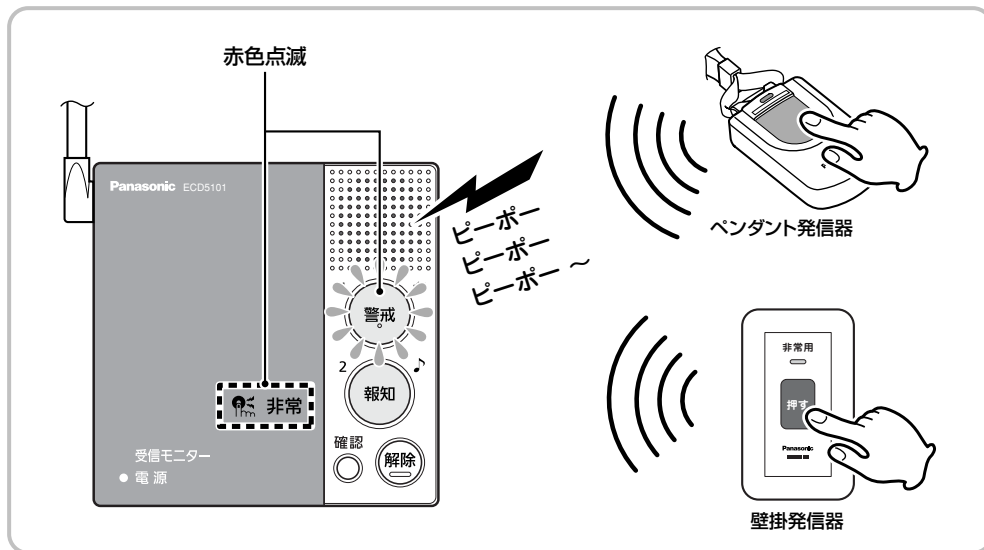
- 火災灯が消灯します。

・手順5で確認ボタンを押さずに、解除ボタンを押しても警報履歴は消去されます。

警報時の処置

- 警報内容を確認のうえ、隣近所へ連絡するなど適切な処置を行ってください。

3.5 非常警報を鳴らすには



- 1 非常警報用のペンダント発信器または壁掛発信器を操作する
- 2 非常灯と警戒ボタンが赤色点滅する
- 3 受信器から警報メッセージ「ピーポーピーポーピーポー、非常発生」が鳴る
 - 警報ランプ付ブザー受信器の警報音が鳴ります。
 - 自動通報機へ出力します。
- 4 解除ボタンを押すと、受信器の警報メッセージが停止する
 - 警戒ボタンは消灯し、非常灯は点滅し続けます。(警報履歴表示状態)
 - 警報ランプ付ブザー受信器の警報音と警報表示も停止します。
 - 自動通報機への出力も停止します。
- 5 確認ボタンを押して警報履歴を確認する
 - 確認メッセージ「非常の〇〇番 異常がありました 確認してください」が鳴ります。

・ 電池切れやシステム異常が起きている場合は、その内容を伝えるメッセージが鳴ります。
- 6 解除ボタンを押して警報履歴を消去する
 - 非常灯が消灯します。

・ 手順5で確認ボタンを押さずに、解除ボタンを押しても警報履歴は消去されます。

警報時の処置

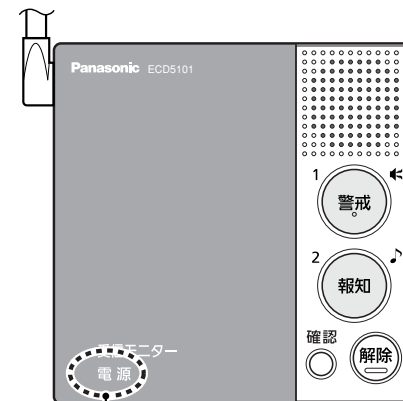
- 警報内容を確認のうえ、隣近所へ連絡するなど適切な処置を行ってください。

3.6 停電になったら

つづく

3.6.1 停電バックアップ電池がない場合

停電発生時

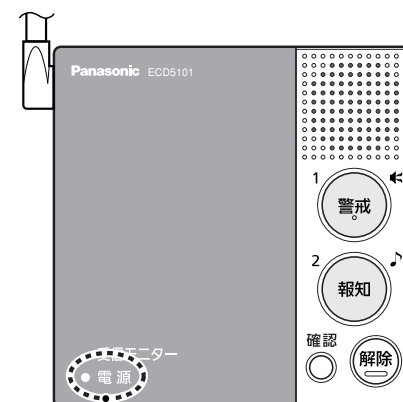


- 発信器・送信器の信号を受信できません。(異常が発生しても警報しません。)

発信器・送信器の
信号を受信できない。

消灯

停電復旧時



- 警戒セット状態または報知セット状態、および警報表示状態は、停電する前の状態を保持しています。
- 玄関・窓の開閉状態は、閉状態になります。

緑色点灯

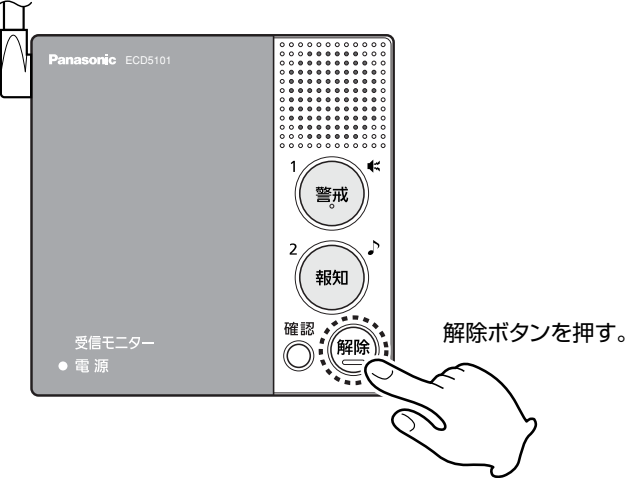
■受信器と玄関・窓の開閉状態を一致させる

- 停電中は電波を受信していません。停電中に窓を開けても受信器側で信号を受信できず、受信器の表示と実際の玄関・窓の開閉状態にズレが発生する場合がありますので、停電復旧後、非警戒状態で発信器・送信器を動作させ、受信器と実際の窓の状態を一致させてください。
(送信器を動作させなくても状態表示灯と送信器の状態は8時間以内に自動的に一致します。)

注・警戒セット状態で玄関や窓を開閉すると警報メッセージが鳴りますので、受信器を下記のように非警戒状態に変更してから動作させてください。

受信器で非警戒状態にする

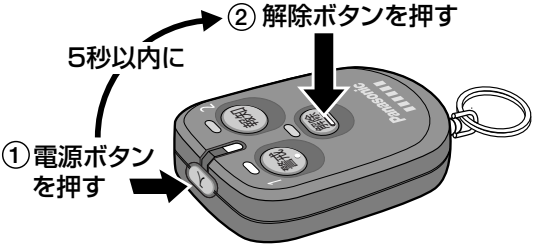
詳細は、39～40ページを参照



または

警戒セット・解除発信器で非警戒状態にする

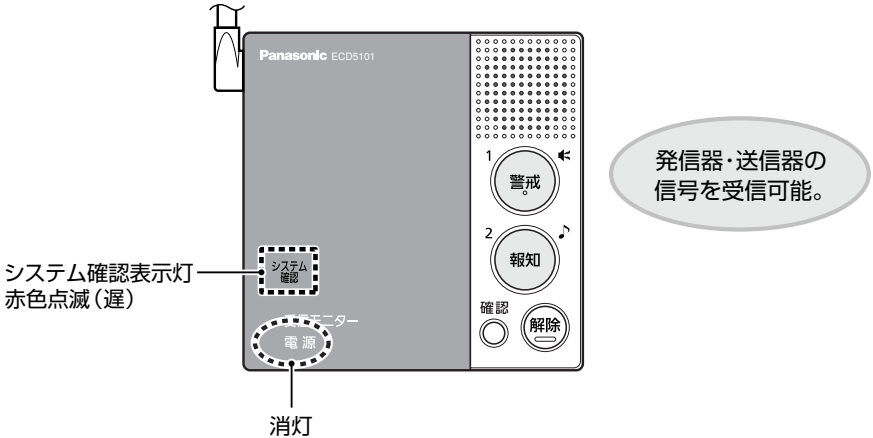
詳細は、54～55ページを参照



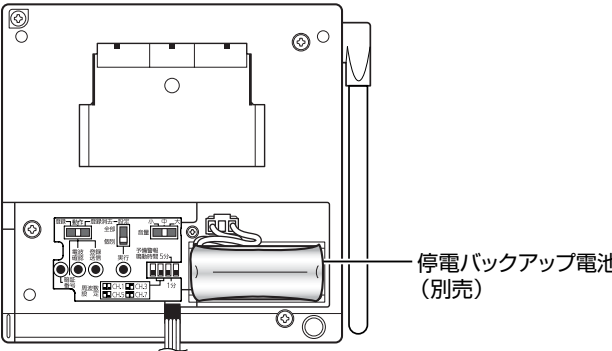
3.6.2 停電バックアップ電池がある場合

停電発生時

- システム確認表示灯が点滅し、停電バックアップ電池で動作していることを示します。
- 「親機の電源が供給されていません」が1分ごとに鳴ります。
- 停電バックアップ電池で完全充電状態で約30分間警戒することができ、30分以内に異常を検知した場合は、約5分間警報動作が可能です。



裏面



注・停電中に受信器のシステム確認表示灯が消灯している場合は、停電バックアップ電池が接続されていません。停電復旧後、45ページの「受信器と玄関・窓の開閉状態を一致させる」の操作を行ってください。

3.7 各警報の優先順位

●各警報が同時に発生した場合、下記のような優先順位で動作します。
例えば、防犯警報と報知が同時に発生すると、防犯警報のみ鳴動します。ただし状態表示灯はすべて点灯または点滅します。

- ① 火災警報
- ② 防犯警報・非常警報（後から発生した警報が優先します。）
- ③ 予備警報
- ④ 警戒中の敷地報知・報知・戸締り確認（後から発生した報知が優先します。）

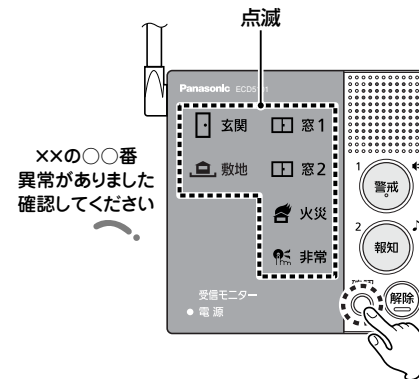
■ 各警報・報知の鳴動内容一覧

警報・報知内容		警報メッセージ・報知音・報知メッセージ
①	火災警報	「ピーポーピーポーピーポー、火災警報器が作動しました 確認してください」
②	防犯警報	「ヒュンヒュンヒュン、防犯異常発生」
	非常警報	「ピーポーピーポーピーポー、非常発生」
③	予備警報	「ボン、防犯警戒中です」
④	警戒中の敷地報知	「ポロロン」(3回)
	報知	
	戸締り確認	「ボン、戸締りを確認してください」

3.8 状態表示灯が点滅し続けるとき

●状態表示灯のいずれかが点滅し続けているときに確認ボタンを押すと、異常が発生した場所と発信器・送信器の登録番号を確認できます。

※・警報メッセージ、報知音が鳴っているときは、警報履歴表示操作は行えません。



① 状態表示灯が点滅し続ける

●確認する履歴があることを示しています。（警報履歴表示状態）

② 確認ボタンを押す

●メッセージで異常の内容や発生場所をお知らせします。
〇〇には発信器・送信器の登録番号をお知らせします。

メッセージ例)

- ・玄関防犯予備警報、防犯警報:「玄関の〇〇番 異常がありました 確認してください」
- ・窓1防犯警報:「窓1の〇〇番 異常がありました 確認してください」
- ・窓2防犯警報:「窓2の〇〇番 異常がありました 確認してください」
- ・非常警報:「非常の〇〇番 異常がありました 確認してください」
- ・火災警報:「火災警報器の〇〇番 異常がありました 確認してください」

・複数の発信器・送信器で異常発生した場合、または複数の警報が発生した場合は、すべてのメッセージが鳴ります。

・システム確認表示灯、電池切れ表示灯が点灯している場合は、メッセージに続いて電池切れまたはシステム確認メッセージが鳴ります。

・鳴っている途中でメッセージを停止するには、もう一度確認ボタンを押します。

③ 履歴を消去するには、解除ボタンを押す

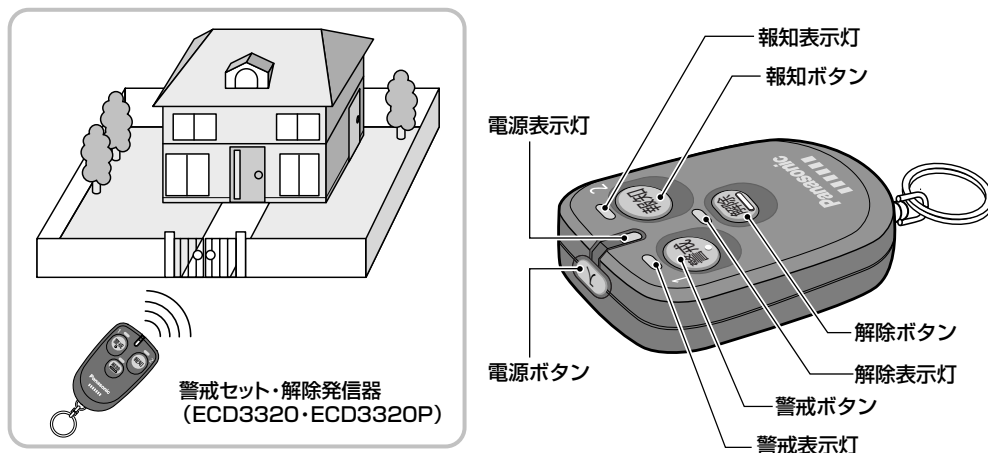
4 便利な使いかた

4.1 警戒セット・解除発信器を使う	51～56
● 4.1.1 / 表示灯の表示内容	51
● 4.1.2 / 警戒セットする	52
● 4.1.3 / 報知セットする	53
● 4.1.4 / 警戒セット状態を解除する	54
● 4.1.5 / 報知セット状態を解除する	55
4.2 警報ランプ付ブザー受信器や自動通報機の動作	56

4.1 警戒セット・解除発信器を使う

- 警戒セット・解除発信器を使用すると、外出時に敷地を出てから即時警戒セットしたり、帰宅時に警戒を解除してから宅内に入ることができます。

- 注・受信器で警報発生しているときや警報履歴表示中は、警戒セット・解除発信器による操作は行えません（電源ボタンを押したときに「ピーピーピー」音が鳴り、警戒表示灯と報知表示灯が点滅している場合は、操作できないことをお知らせします。）
- 警戒セット・解除発信器から受信器までの電波の到達距離は、障害物のない場合での水平見通し距離約100mです。あらかじめ電波到達距離を確認の上、使用してください。



4.1.1 表示灯の表示内容

■ 警戒／報知／解除ボタンを押したとき

「－」は消灯を意味します。

表示灯の状態				意味
電源表示灯	警戒表示灯	報知表示灯	解除表示灯	
点滅	－	－	－	受信器と通信中
点灯	点灯	－	－ ※	警戒セット成功
点灯	－	点灯	－	報知セット成功
点灯	－	－	点灯	警戒解除成功
点灯	点滅	点滅	－	警報発生中または警報履歴表示中
点灯	点灯	点灯	－	暗証番号入力待ち
点灯	－	－	点滅	暗証番号入力待ちまたは暗証番号エラー

※:電源ボタンを押した際には、解除表示灯が点滅します。

4.1.2 警戒セットする

■ 非警戒状態から警戒セットする

■ 警戒開始遅延時間中に警戒セットする

- 受信器が非警戒状態になっているときに、警戒セット・解除発信器で直接警戒セットすることができます。

- 注・戸締りができていない玄関や窓がある場合は警戒セットできません。
戸締りをするか、受信器本体で操作を行ってください。
・警戒セット・解除発信器の操作は、玄関または敷地を出てから行ってください。

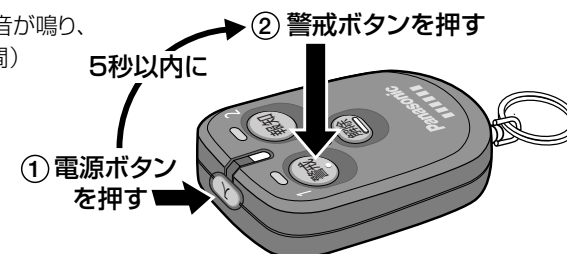
① 非警戒状態または玄関の警戒開始遅延状態で玄関または敷地から出る

② 警戒セット・解除発信器の電源ボタンを押す

- 受信器との通信中は電源表示灯が点滅します。（約2秒間）
- 受信器との通信が完了すると「ピ」音が鳴り、電源表示灯が点灯します。（約5秒間）

③ 警戒セット・解除発信器の警戒ボタンを押す

- 受信器との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、警戒表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。



- 注・警戒表示灯が点滅し、「ピピピ」音が鳴った場合は、戸締りができていないことを示します。
・玄関を閉めてすぐに警戒セット・解除発信器を操作すると、「ピピピ」音が鳴り、操作できない場合があります。この場合は、再度、警戒セット・解除発信器で操作し直してください。

④ 受信器が警戒セットされる

- 受信器の警戒ボタンが点灯に変わります。
- 警報ランプ付ブザー受信器をお使いの場合は、警報ランプが点灯し、宅外でも警戒セットを確認できます。（警報ランプ付ブザー受信器の説明書を参照してください。）

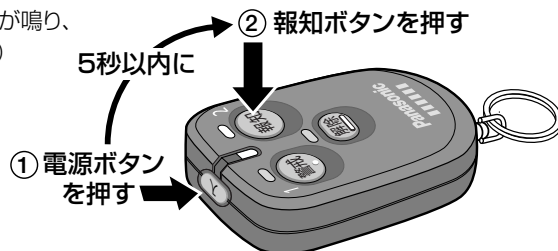
4.1.3 報知セットする

- 受信器が非警戒状態になっているときに、警戒セット・解除発信器で直接報知セットすることができます。

※・受信器が警戒セット状態のときは、警戒セット・解除発信器で報知セットすることはできません。警戒セット状態を解除してからセットし直してください。

① 警戒セット・解除発信器の電源ボタンを押す

- 受信器との通信中は電源表示灯が点滅します。(約2秒間)
- 受信器との通信が完了すると「ピ」音が鳴り、電源表示灯が点灯します。(約5秒間)



② 警戒セット・解除発信器の報知ボタンを押す

- 受信器との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、報知表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。

③ 受信器が報知セットされる

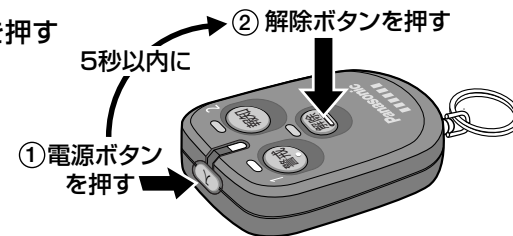
- 受信器の報知ボタンが点灯に変わります。

4.1.4 警戒セット状態を解除する

- 帰宅時などに、警戒セット・解除発信器で直接警戒セット状態を解除することができます。これにより、予備警戒時間を気にすることなく、警戒セット状態を解除してから宅内に入ることができます。

① 警戒セット・解除発信器の電源ボタンを押す

- 受信器との通信中は電源表示灯が点滅します。(約2秒間)
- 受信器との通信が完了すると「ピ」音が鳴り、電源表示灯が点灯します。(約5秒間) また、次に押すボタンのお知らせとして、解除表示灯が点滅します。



※・「ピーピーピー」音が鳴り、警戒表示灯と報知表示灯が点滅した場合は、受信器で警報が発生しているか、警報履歴表示中です。受信器側で確認してください。警戒セット・解除発信器では警報を解除できません。

② 警戒セット・解除発信器の解除ボタンを押す

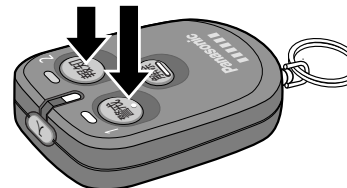
・暗証番号が設定されていない場合は、手順3の操作は必要ありません。
(受信器との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、解除表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。)

- 警戒表示灯と報知表示灯が点灯します。

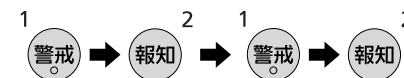
③ 警戒ボタン(1)と報知ボタン(2)を組み合わせて暗証番号を押す

- 暗証番号は「1」と「2」を組み合わせた4ケタの数字で設定されています。設定方法については、設定マニュアルの「1.8 暗証番号を設定する」を参照してください。
- 受信器との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、解除表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。

警戒ボタン(1)と報知ボタン(2)を押す



例) 暗証番号に「1・2・1・2」を設定している場合



※・暗証番号が間違っていた場合は、解除表示灯が点滅して「ピピピ」音が鳴り、警戒表示灯と報知表示灯が点灯します。再度手順3からの操作を行ってください。
・暗証番号を3回間違えると、防犯警報が鳴ります。

④ 受信器が非警戒状態になる

4.1.5 報知セット状態を解除する

- 受信器が報知セット状態のときに、警戒セット・解除発信器で直接報知セット状態を解除することができます。

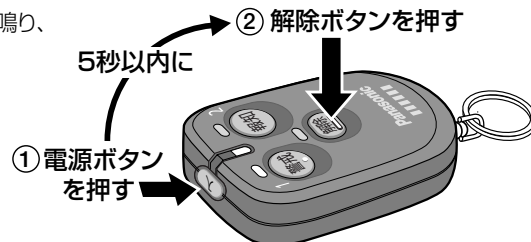
① 警戒セット・解除発信器の電源ボタンを押す

- 受信器との通信中は電源表示灯が点滅します。(約2秒間)
- 受信器との通信が完了すると「ピ」音が鳴り、電源表示灯が点灯します。(約5秒間)

② 警戒セット・解除発信器の解除ボタンを押す

- 受信器との通信が完了すると「ピー」音が鳴り、解除表示灯と電源表示灯が3秒間点灯した後、消灯します。

③ 受信器が非警戒状態になる



4.2 警報ランプ付ブザー受信器や自動通報機の動作

- 警報が発生した場合に、警報ランプ付ブザー受信器を動作させたり、自動通報機から警報を通報することができます。

■ 警報ランプ付ブザー受信器の動作と自動通報機への出力タイミング

警報の種類	接続機器	警報ランプ付ブザー受信器の動作		自動通報機への出力 ※	
		動作開始タイミング	動作停止タイミング	出力開始	出力停止
報知		動作しません。	動作しません。	出力しません。	出力しません。
警戒中の敷地報知		受信器の報知音と同時に動作します。	受信器の報知音停止時に動作停止します。	出力しません。	出力しません。
予備警報		動作しません。	動作しません。	出力しません。	出力しません。
防犯警報		受信器の警報メッセージと同時に動作します。	警戒解除時に動作停止します。	受信器の警報メッセージと同時に出力します。	警戒解除時に出力停止します。
火災警報		受信器の警報メッセージと同時に動作します。	警報復旧時に動作停止します。	受信器の警報メッセージと同時に出力します。	警報復旧時に出力停止します。
非常警報		受信器の警報メッセージと同時に動作します。	警報復旧時に動作停止します。	受信器の警報メッセージと同時に出力します。	警報復旧時に出力停止します。

※：自動通報機から通報先に通報されるタイミングは自動通報機の設定で決まります。自動通報機の説明書を参照してください。

5 故障かな?と思ったら

5.1 電池切れ表示灯やシステム確認表示灯が点灯した場合は	59～60
● 5.1.1 / 異常内容の確認方法	59
● 5.1.2 / 異常内容の対処方法	60
5.2 トラブルが発生した場合には	61～62

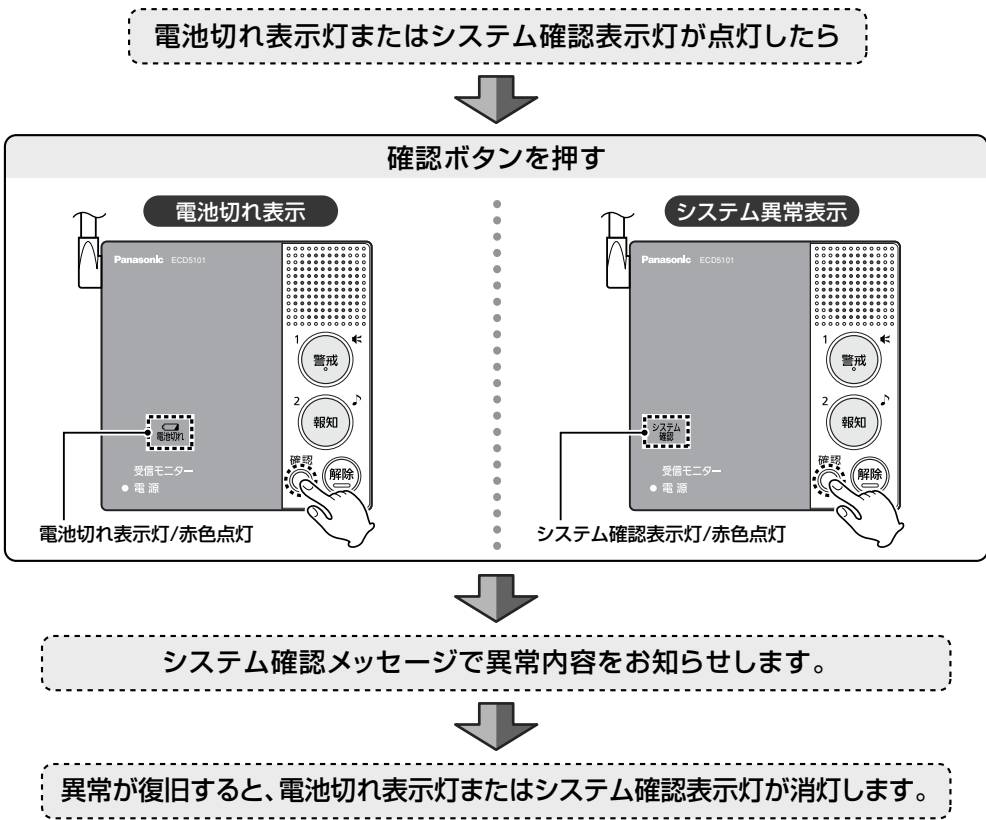
5.1 電池切れ表示灯やシステム確認表示灯が点灯した場合は

●電池切れに近い発信器・送信器がある場合や、発信器・送信器に異常があると、電池切れ表示灯やシステム確認表示灯が点灯してお知らせします。

このとき、確認ボタンを押すと、システム確認メッセージが鳴り、異常内容を確認することができます。

注 ● 発信器・送信器の電池切れやシステム異常の確認は、非警戒状態（警戒ボタンと報知ボタンが消灯している状態）で行ってください。

5.1.1 異常内容の確認方法



注 ● 状態表示灯が点滅しているときに確認ボタンを押すと、警報履歴メッセージの後、システム確認メッセージが鳴ります。

● 状態表示灯が点灯しているときに確認ボタンを押すと、システム確認メッセージが鳴った後、戸締り確認メッセージが鳴ります。

● 警報メッセージまたは報知音が鳴っているときは、システム確認メッセージは鳴りません。

5.1.2 異常内容の対処方法

● 鳴っているメッセージの内容に応じて、下記にしたがって処置してください。

処置しても電池切れ表示灯やシステム確認灯が消灯しない場合は、当社、および施工店（販売店）へ相談してください。

○○:エリア場所と登録番号（例:「窓1の2番」）

システム確認メッセージ	表示灯	内 容	処 置
○○ 電池切れです 電池を交換してください	 電池切れ表示灯 赤色点灯	発信器・送信器の電池切れ	該当する発信器・送信器の電池切れが近くなっています。 発信器・送信器に付属の説明書にしたがって電池交換を行ってください。 電池交換を行った後、発信器・送信器を操作して電池切れ表示灯が消灯することを確認してください。
親機のバックアップ電池が故障しています 電池を交換してください	 システム確認表示灯 赤色点灯	受信器の電池故障	受信器のバックアップ電池が故障しています。 電池交換を行ってください。
親機のバックアップ電池の交換時期です 電池を交換してください		受信器の電池交換のお知らせ	受信器のバックアップ電池の寿命が近くなっています。電池交換を行ってください。 停電バックアップ電池は消耗品ですので2年ごとの電池交換をお勧めします。
○○ 通信できません 確認してください		通信エラー	発信器・送信器の電波が届いていません。 下記にしたがって、それぞれ対処してください。 ■電池切れ表示灯が点灯している場合 発信器・送信器の電池切れが発生しています。 該当する発信器・送信器の電池を交換してください。 ■受信モニターが常に点灯・点滅している場合 受信器が周辺機器からノイズを受けています。 受信器の周辺にテレビ・パソコンなどがある場合は移動してください。周辺機器を移動しても受信モニターが消灯しない場合は、設定マニュアルにしたがって、受信器およびすべての発信器・送信器の周波数チャンネルを変更するか、施工店へ連絡してください。 周波数チャンネルを変更した場合は、必ず電波到達距離確認を行ってください。

5.2 | トラブルが発生した場合には

- 修理、サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。
なお、これらの処置をしても問題が解決されない場合は設定マニュアルの「3.1 登録・設定時のトラブル処置」にしたがって処置するか、当社、および施工店（販売店）に連絡してください。

状 態	点 検	処 置
警戒ボタン、 報知ボタンと すべての 状態表示灯が 点滅する	発信器・送信器を登録していますか？	警戒ボタン、報知ボタンとすべての状態表示灯が点滅する場合は、発信器・送信器が1台も登録されていないことを示します。設定マニュアルにしたがって、登録してください。
電源表示灯が 点灯しない	ブレーカーが切れていませんか？	ブレーカーを入れてください。
確認メッセージ音量、 報知音量が小さい	音量スイッチが「小」または「中」になっていませんか？	適切な音量に調整してください。詳細は設定マニュアルの「1.1.1. 設定部」を参照してください。
発信器・送信器を 動作させても 受信器が動作しない または、 ときどき動作しない	発信器・送信器の電池が正しく入っていますか？	極性を確認して正しく電池を入れてください。
	古い電池を使っていますか？	新しい電池と交換してください。
	発信器・送信器は登録されていますか？	発信器・送信器を登録してください。（設定マニュアルの「1.5 発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を登録する」参照）
	受信器と発信器・送信器の間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通にくい障壁がありませんか？	電波を通しにくい障壁を避けて、動作する場所で使用してください。
	受信器または発信器・送信器の近くに、ファクシミリやパソコンなど電波（ノイズ）を出している家電商品やOA機器がありませんか？（受信モニターが赤色点灯・点滅）	電波（ノイズ）を出している家電商品やOA機器の近くを避けて、動作する場所で使用してください。
	受信器と発信器・送信器間の距離が離れすぎていませんか？	距離を近づけ、動作する場所で使用してください。
	発信器・送信器の近くで携帯電話やPHS電話を使用していないですか？	携帯電話やPHS電話の使用を終了し、発信器・送信器を操作してください。
	発信器・送信器の近くにAC100V機器またはAC100V電源線が配置されていませんか？	AC100V機器、AC100V電源線の近くを避けて、動作する場所で使用してください。

状 態	点 検	処 置
警戒ボタン、 報知ボタンを 押しても 警戒／報知セット できない	警報メッセージが鳴っていませんか？	警報メッセージが鳴っているときは、警戒／報知セット状態へ変更できません。解除ボタンを押して警報メッセージを停止させてください。
警戒セット状態のとき、 報知ボタンを 押しても 報知セットできない	玄関、窓1、窓2のいずれかの状態表示灯が点滅していますか？	防犯警報が発生して、防犯警報メッセージが停止している状態です。解除ボタンを押して警戒セット状態を解除してください。
警報時、 解除ボタンを 押しても 解除ができない	暗証番号入力表示灯が点滅していませんか？	暗証番号を入力して警報を解除する設定になっています。「3.2.2 暗証番号を設定している場合」にしたがって暗証番号を入力して操作してください。
警報を解除したが、 状態表示灯が 点滅している	防犯警報、予備警報、または非常警報を解除しましたか？	警報の履歴表示です。確認ボタンを押して異常が起きた発信器・送信器を特定し、確認してください。確認し終わったら、解除ボタンを押して履歴表示を消去してください。
	火災警報を解除しましたか？	警報の履歴表示です。確認ボタンを押して異常が起きた送信器を特定し、確認してください。確認し終わったら、住宅用火災警報器を復旧させてから解除ボタンを押して履歴表示を消去してください。
停電バックアップ電池 使用時、 使用可能時間が 短くなった	同じ停電バックアップ電池を2年以上使用していませんか？	停電バックアップ電池にも寿命があります。新しい停電バックアップ電池と交換してください。設定マニュアルの「2.3 別売の停電バックアップ電池を使用する場合は」を参照してください。

用語集

用語	意味
警戒セット状態 報知セット状態 非警戒状態	受信器の状態のことで3種類のいずれかを選択できます。 それぞれのボタンを押すことでワンタッチで状態を切り替えることができます。(21～24ページ参照)
モード	受信器の動作状態を「モード」と言います。 受信器を次のそれぞれの動作状態にして、登録や設定、電波確認などを行います。発信器・送信器を登録するには「登録モード」、登録した発信器・送信器からの電波の到達を確認するには「電波到達確認モード」、暗証番号を設定するには「暗証番号設定モード」、発信器・送信器の登録を消去するには「登録消去モード」、通常の使用時は「動作モード」にします。
警戒開始遅延時間	警戒セットしてから実際に警戒を開始するまでの時間(5分間固定)。 警戒開始遅延時間内に玄関や敷地に登録された送信器から送信された防犯異常信号は無視されます。 たとえば玄関は、警戒をセットしてすぐに警戒状態に入ってしまうと外出時に警報発生してしまうため、警戒開始遅延時間が設定されています。
予備警報	防犯警戒中に玄関に登録された送信器からの防犯異常信号を受信してから、防犯警報に移行するまでの状態。
予備警報時間	予備警報の時間(1分間/5分間)。この時間内に警戒解除操作を行えば、防犯警報には移行しません。
電波到達確認	発信器・送信器の電波が確実に届くかどうかを確認する機能です。
セキュリティ電波	ECD品番の発信器・送信器が使用する「小電力セキュリティシステム電波」のこと。 最大10mWの送信出力を持つため、ECE品番の発信器・送信器より電波到達信頼性が高いのが特長です。 使用周波数 CH1 (426.7625) MHz CH3 (426.7875) MHz CH5 (426.8125) MHz CH7 (426.8375) MHz
一部警戒	戸締りされていない窓を除いて警戒セットされた状態。戸締りがされた時点でその窓も警戒状態になります。就寝前など、一部の窓だけをしばらく開けておきたい場合に便利です。(27ページ参照)

仕様

電源電圧	●埋込型ACアダプタ AC100V 50/60Hz ●ニッケル水素電池 (品番：ECD1700) DC2.4V 500mA
消費電力	動作時：5.5W以下 待機時：2W以下
使用周波数	CH1 (426.7625) MHz CH3 (426.7875) MHz CH5 (426.8125) MHz CH7 (426.8375) MHz
電波の到達距離	障害物のない場所での水平見通し距離 約100m (周囲環境により異なります。)
出力仕様	自動通報機専用コネクタ出力：1出力 (無電圧a接点 AC/DC30V 250mA)
音 圧 (前方1m) (ただし音声は除く)	●報知音・確認メッセージ： 大：約70dB 中：約58dB 小：約46dB ----- ●警報メッセージ：70dB以上(音量調節できません)
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸 法	●受信器 高さ：約120mm (アンテナを伸ばした状態:約215mm) 幅：約120mm 奥行：約25mm ●埋込型ACアダプタ 高さ：約118mm 幅：約118mm 奥行：約42mm (商品取付時、壁面より約6mm)
質 量	●受信器：約240g ●埋込型ACアダプタ：約350g

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ！
- 使いた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、この小電力型ワイヤレスセキュリティ受信器
親機の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有
しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

58～62ページの「故障かな?と思ったら」に従ってご確
認のあと、直らないときは、まず受信器裏面のコネクタ付
リード線と停電バックアップ電池のコネクタを抜いて、お
買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により
修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご連絡ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されて
います。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・
調整・修理完了時の点検などの作業にか
かる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代
です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ
技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製 品 名	小電力型ワイヤレスセキュリティ受信器親機	お買い上げ日	年 月 日
品 番	ECD5101	故 障 の 状 況	できるだけ具体的に

便 利 メ モ （おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品 番	ECD5101
販 売 店 名	電話（ ）	—	
お客様ご相談窓口	電話（ ）	—	

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部

〒514-8555 三重県津市藤方1668

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
（ホ）本書のご提示がない場合
（ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ト）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お客様ご相談窓口は、別紙パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

ワイヤレスセキュリティ受信器親機保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	ECD5101		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間 (但し構成機器を含む)		
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電 話 () —		
※ 販売店	住所・販売店名 _____ 電 話 () —		

パナソニック電気株式会社 HA・セキュリティ事業部

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地 TEL(059) 228-1211

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。